

## 今期業況天気図

### 今期業況天気図

期間：令和3年7月～9月（売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較）

全業種総合の天気図は「小雨」。令和3年7月～9月期の総合業況DIは▲28と、前期▲25から3ポイントの悪化。

業種別では、建設業は▲30（前期差2ポイント増）、製造業は▲21（前期差3ポイント減）、飲食業・サービス業も▲28（前期差3ポイント減）と、ほぼ前期並み。小売業・卸売業が▲35（前期差6ポイント減）と若干の悪化が見られた。新型コロナの第5波が発生したため前期の回復基調が足踏みした形であるが、8月をピークに収束に向かったため、昨年度のような極めて悪い状況への回帰は避けられた。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲22	▲5	▲33	▲29	▲26
採算	▲29	▲24	▲30	▲38	▲28
仕入単価	▲42	▲61	▲54	▲47	▲23
販売単価	▲8	▲10	▲14	▲2	▲7
従業員	15	15	24	8	15
資金繰り	▲21	▲19	▲25	▲21	▲21
今期業況 (総合判断)	▲28	▲21	▲30	▲35	▲28
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					景観観測調査
快晴  DI値 31以上	晴れ  DI値 30～11	薄曇り  DI値 10～▲10	小雨  DI値 ▲11～▲30	雨  DI値 ▲31以下	前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景況動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

### 参考)今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和2年10月～ 12月期					
2四半期前 令和3年1月～ 3月期					
1四半期前 令和3年4月～ 6月期					
今期 令和3年7月～ 9月期					

## 今期業況天気図

### 今期業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

期間:令和3年7月～9月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

小規模事業者のみの全業種総合のDIは▲34で天気図は「雨」。建設業が▲19(前期差16ポイント増)で大きく改善したほかは、製造業と飲食業・サービス業がいずれも▲39(前期差3ポイント減)、小売業・卸売業が▲45ポイント(前期差7ポイント減)で、厳しい状況が続いている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲10	▲25	▲4	▲46	▲21
採算	▲14	▲40	▲4	▲50	▲34
仕入単価	▲23	▲59	▲8	▲46	▲45
販売単価	▲14	▲16	▲2	▲6	▲42
従業員	▲8	11	6	2	▲40
資金繰り	▲25	▲28	▲9	▲30	▲43
今期業況(総合判断)	▲34	▲39	▲19	▲45	▲39
今期業況 天気図					

### 今期業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

期間:令和3年7月～9月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合のDI値は▲10と前期の▲9からほぼ変わらず、天気図は「薄曇り」。製造業が13(前期差1ポイント増)で「晴れ」でほぼ変わらず、小売業・卸売業が▲17(前期差2ポイント減)、飲食業・サービス業が▲15(前期差4ポイント減)も小雨のままではほぼ変わらないが、建設業が▲47(前期差35ポイント減)と大幅に悪化した。小規模事業者以外の中小企業では、建設業以外の業種は、前期に引き続き業況の回復基調が維持されている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	1	32	▲26	2	▲13
採算	▲11	6	▲32	▲17	▲16
仕入単価	▲66	▲66	▲68	▲50	▲23
販売単価	▲2	1	▲37	5	▲2
従業員	21	20	11	15	26
資金繰り	▲7	▲3	▲21	▲5	▲8
今期業況(総合判断)	▲10	13	▲47	▲17	▲15
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下	<p>&lt;&lt;景気観測調査&gt;&gt; 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。</p>

## 次期見通し業況天気図

### 次期見通し業況天気図

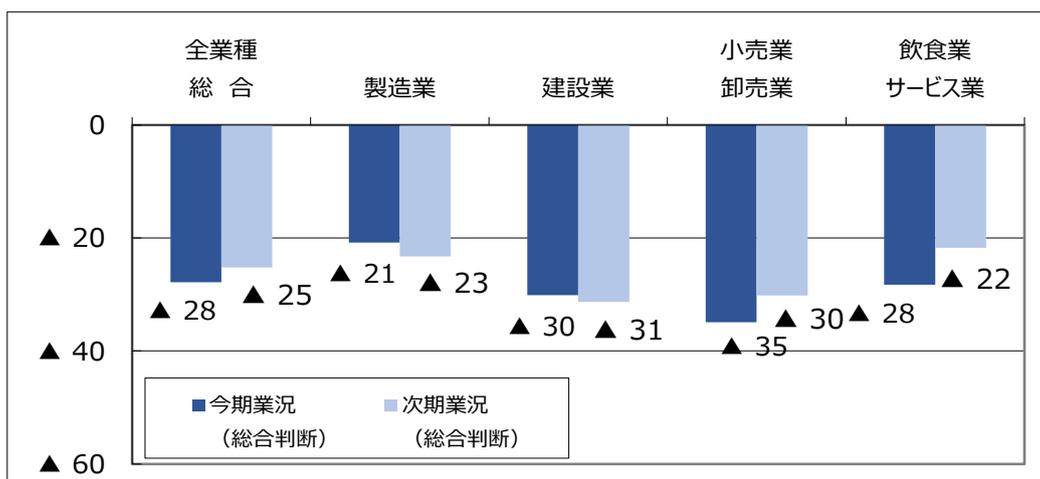
令和3年10月～12月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲25(今期差3ポイント減)と、若干の悪化の見込み。  
産業別にみると、製造業は▲23ポイント(今期差2ポイント減)、建設業は▲31(今期差1ポイント減)と今期並みの状況となる見込み。飲食業・サービス業は▲22(今期差6ポイント増)、小売業・卸売業は▲30(前期差5ポイント増)とやや改善する予測である。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲15	▲8	▲24	▲23	▲13
採算	▲23	▲19	▲30	▲28	▲20
仕入単価	▲39	▲56	▲49	▲43	▲24
販売単価	▲5	▲8	▲8	0	▲5
従業員	13	11	19	3	16
資金繰り	▲20	▲18	▲25	▲18	▲20
次期業況 (総合判断)	▲25	▲23	▲31	▲30	▲22
次期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
DI値 31以上	DI値 30~11	DI値 10~▲10	DI値 ▲11~▲30	DI値 ▲31以下	

### 参考) 今期と次期の業況DI



## 次期見通し業況天気図

### 次期見通し業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

令和3年10月～12月見込(売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しは▲37(今期差3ポイント減)で、天気図は今期の「雨」のまま推移する見込み。

産業別にみると、今期は厳しい小売業・卸売業は▲39(今期差6ポイント増)と改善の方向に向かう予測である。飲食業・サービス業は▲38(今期差1ポイント増)、製造業は▲40(今期差1ポイント減)と来期も厳しい状況が続く見込み。建設業は▲31(今期差12ポイント減)は再度悪化するものとみられている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲10	▲16	▲3	▲35	▲26
採算	▲14	▲28	▲4	▲37	▲38
仕入単価	▲24	▲58	▲8	▲42	▲47
販売単価	▲15	▲14	▲2	▲3	▲44
従業員	▲10	11	6	0	▲40
資金繰り	▲28	▲27	▲13	▲27	▲44
次期業況(総合判断)	▲37	▲40	▲31	▲39	▲38
次期業況 天気図					

### 次期見通し業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

令和3年10月～12月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲10(今期差±0)で変わらず、引き続き「薄曇り」で推移。

産業別にみると、改善の見込みは建設業も▲37(今期差10ポイント増)、小売業・卸売業は▲13(今期差4ポイント増)、今期景況が良かった製造業は6(今期差7ポイント減)と若干の低下。飲食業・サービス業は▲15ポイント(今期差±0)、)と今期並みの見込み。建設業を除いては改善に向かうと予想されている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲1	8	▲5	▲2	▲6
採算	▲12	▲3	▲37	▲13	▲14
仕入単価	▲36	▲54	▲53	▲45	▲21
販売単価	▲1	3	▲16	5	▲4
従業員	19	12	21	7	27
資金繰り	▲7	0	▲11	▲2	▲13
次期業況(総合判断)	▲10	6	▲37	▲13	▲15
次期業況 天気図					

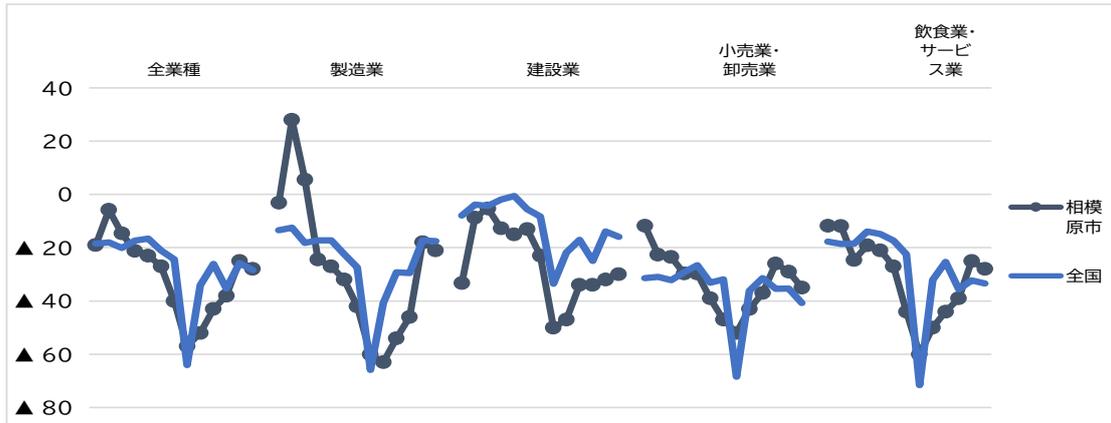
業況天気図凡例				
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下

＜＜景気観測調査＞＞  
前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。  
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

業況DI(前年同期比)の推移

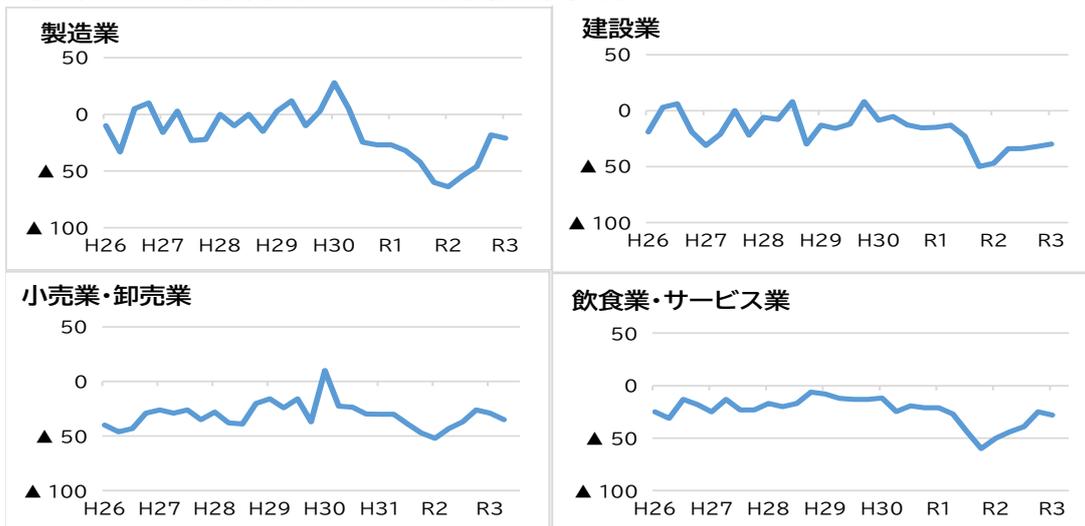
全産業の業況DIは、前期▲25から▲28(前期差3ポイント減)と減少。  
 産業別にみると、前回大幅に改善した製造業が▲21(前期差3ポイント減)と再度減少した。  
 飲食業・サービス業が▲28(前期差3ポイント減)、小売業・卸売業は▲35(前期差3ポイント減)もやや悪化。建設業は▲30(前期差2ポイント増)で前期並みであった。  
 全国と比較すると、建設業は長期に渡って全国よりも悪い業況が続いている。飲食業・サービス業は当市のほうが業況がやや良い。

(平成31年7-9月期～令和3年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断DI」を使用。  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用  
 ※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



## 業況DI（特徴的なトピックス）

---

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

### 【製造業】

- ・コロナで止まっていた案件が一斉に始まった。しかしキャパシティは限られているので、前年度の損は補填できない。【製缶板金】
- ・海外（東南アジア）のコロナの影響（ロックダウン等）で部品供給遅れ発生。【ねじ、ボルト】
- ・次世代技術やオープンイノベーションなどの活発化。【自律移動ロボット開発、協働ロボットSier】
- ・ここへきて原材料の上昇が苦しい【食品】

### 【建設業】

- ・各資材や役務単価の高騰が続いているのが懸念。【土木建築】
- ・電子入札による落札の難しさ（公共工事主体であるため）。【土木工事業】
- ・現場でコロナが出たりして作業が不安定で売上が上がらない。【工場・テナントの間仕切り工事】
- ・受注単価は下落しているのに、鋼材価格が上昇し続けており収益を圧迫している。【建設アンカー工事】

### 【小売業・卸売業】

- ・ECはコロナによる影響が好材料となっている。【パジャマ・ルームウェアの小売業（ネット通販）】
- ・コロナの影響で販売先である海外がロックダウン等の影響で販売単価が下がってきていることが不安。【中古建設機械トラック買取 国内海外販売】
- ・メーカー等、海外生産品の枯渇、遅延等による販売の低下。【釣り具販売】
- ・巣ごもり需要により売上増、下期はウッドショックで厳しくなる予想。【住宅設備機器卸売業】

### 【飲食業・サービス業】

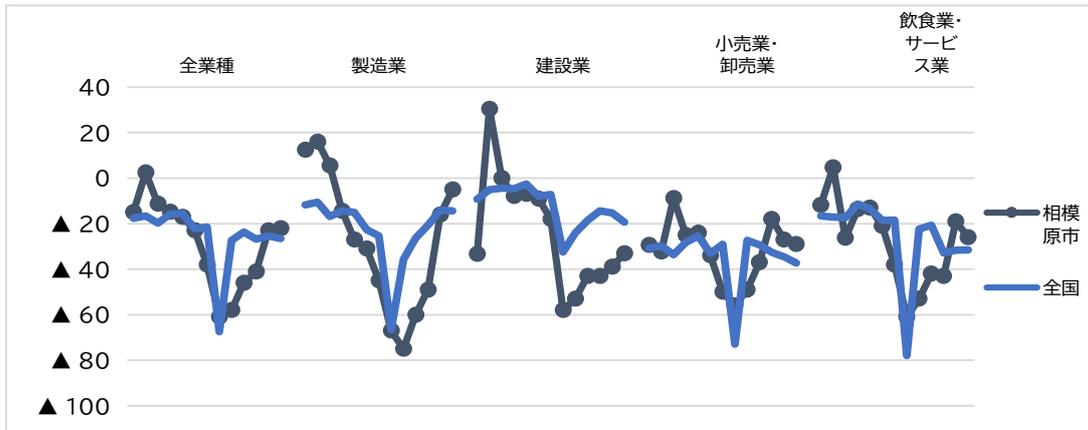
- ・4月より購入顧客、対前年の倍に。【不動産仲介業】
- ・コロナの影響で客足が全くなり、テイクアウトのみの状況。資金不足のため、借入返済に困窮。【日本料理】
- ・コロナ禍による葬儀参列人数減少、それに伴う付帯売り上げ（飲食、返礼品）の減少。【葬祭業】
- ・宣言中にもかかわらず、昼間の客足はほぼ戻っていた。【カフェ】
- ・燃料費の上昇。【一般貨物自動車運送事業】

### 売上DI(前年同期比)の推移

全産業の売上DIは、前期▲23から▲22(前期差1ポイント増)と、ほぼ変わらない。産業別にみると、製造業が▲5(前期差11ポイント増)は回復が続く。建設業は▲33(前期差6ポイント増)と厳しい状況からやや改善。小売業・卸売業は▲29(前期差2ポイント減)で少しの悪化。飲食業・サービス業は▲26(前期差7ポイント減)とやや悪化している。

製造業はほぼコロナ前の水準に戻った。小売業・卸売業と飲食業・サービス業の売上の回復には歯止めがかかった状況である。建設業は厳しい状況が続き、本格的な回復にはまだ時間がかかりそうである。全国と比較すると、建設業を除いて当市のほうが売上の回復が進んでいる。

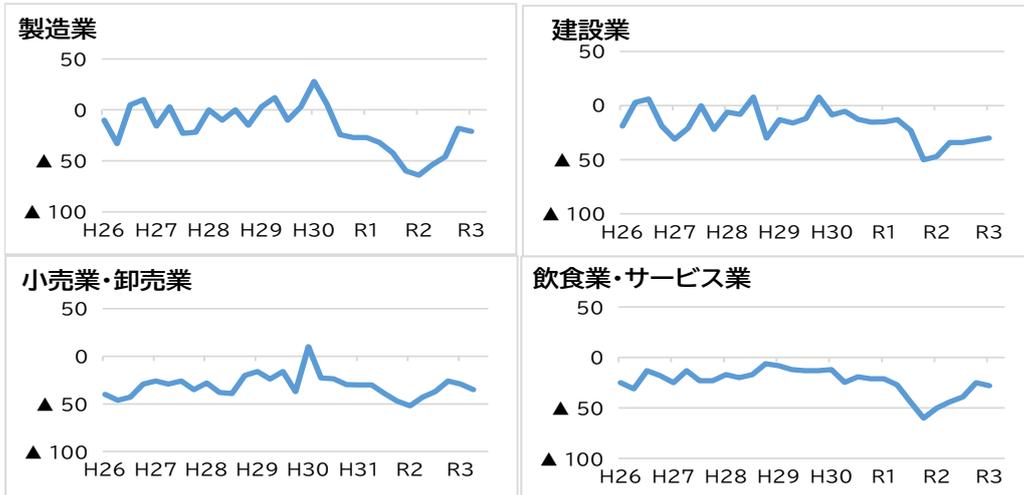
(平成31年7-9月期～令和3年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

### 参考) 売上DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



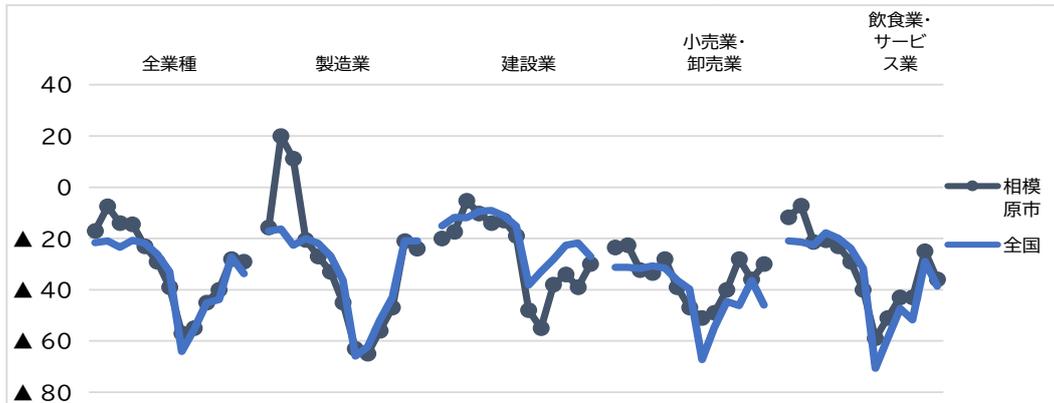
### 採算DI(前年同期比)の推移

全産業の採算DIは、▲29(前期差1ポイント減)と、ほぼ変わらず。

産業別にみると、建設業が▲30(前期差9ポイント増)と回復したほかは、小売業・卸売業が▲38(前期差2ポイント減)、製造業が▲24(前期差3ポイント減)、飲食業・サービス業が▲28(前期差3ポイント減)と若干の悪化。製造業では売上が回復しているにも関わらず採算の回復は停滞しており、資材価格の高騰の影響が出ていることがうかがえる。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全国で再び状況が悪くなっている小売業・卸売業は、当市では回復基調である。それ以外の産業は採算DIはほぼ同様の状況である。

(平成31年7-9月期～令和3年7-9月期、前年同期比)

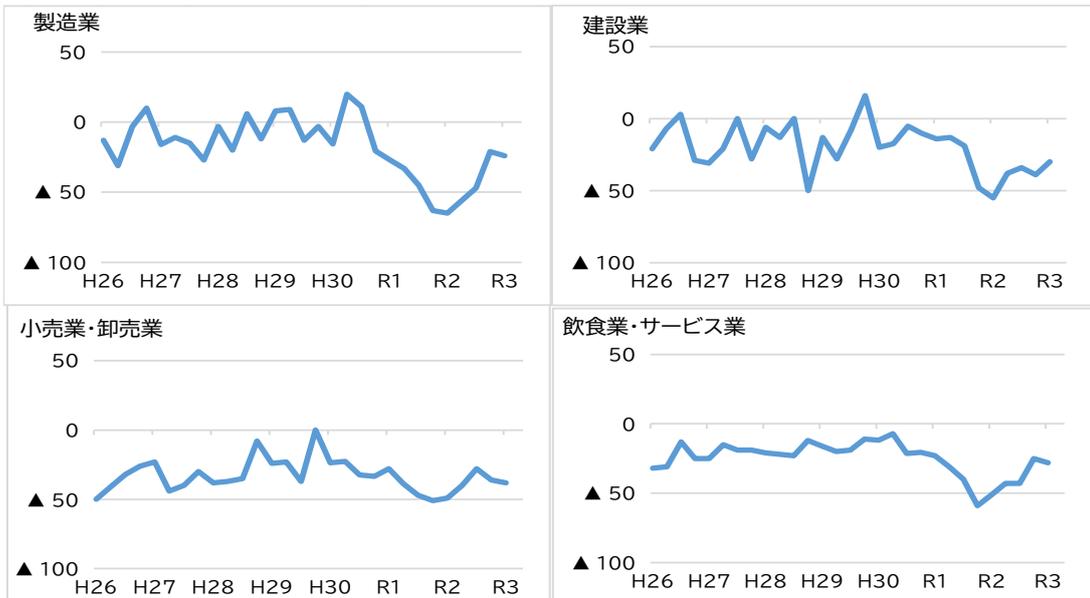


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

### 参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



## 仕入単価DIの推移

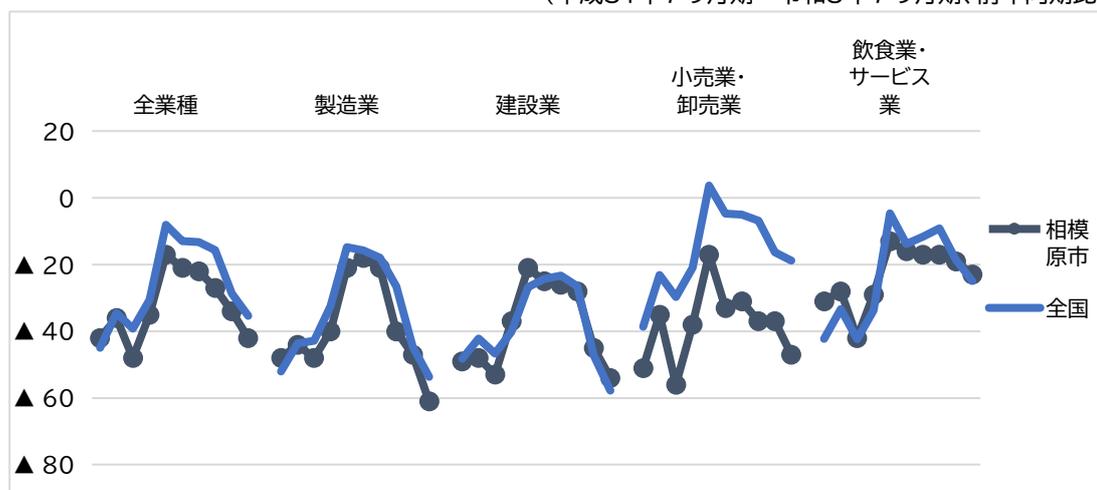
### 仕入単価DI(前年同期比)の推移

全産業の仕入単価DIは▲42(前期差8ポイント減)で、全業種にわたり仕入単価の上昇傾向が表れている。

産業別にみると、製造業は▲61(前期差14ポイント減)と急激な単価上昇に見舞われており、小売業・卸売業は▲47(前期差10ポイント減)、建設業は▲54(前期差9ポイント減)といずれも悪化した。仕入れの影響を受けにくい飲食業・サービス業は▲23(前期差4ポイント減)と小幅の悪化に留まる。

半導体、木材から始まった輸入資材の不足が、一般金属や食品、燃料などにも広がり始め、全産業で仕入値が上昇し、コロナの影響から改善しつつあった景況回復を妨げている。

(平成31年7-9月期～令和3年7-9月期、前年同期比)



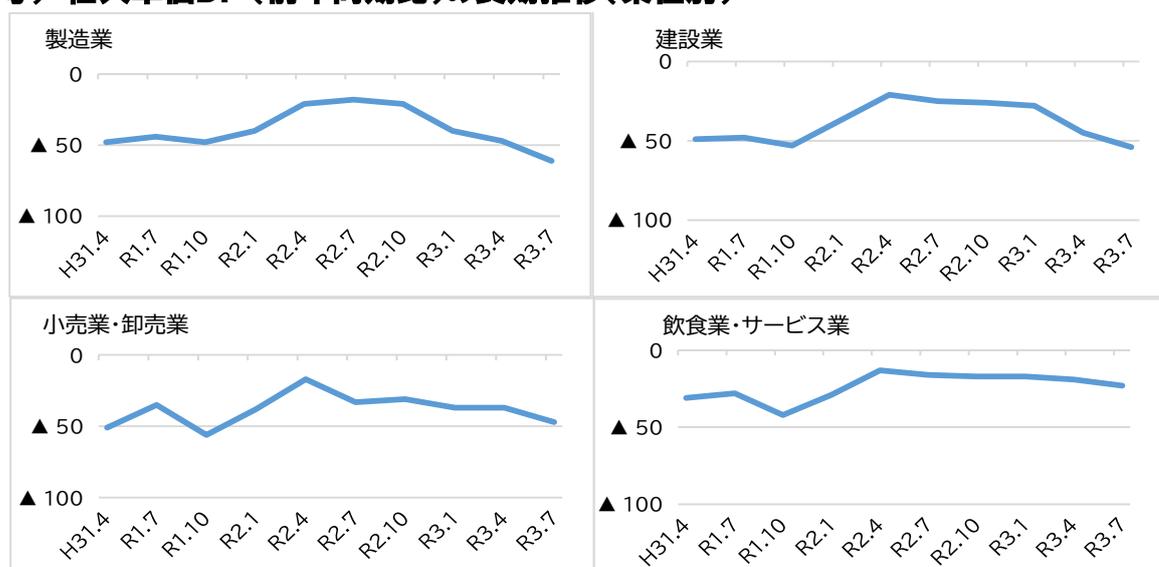
※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落-上昇、中小企業庁は「上昇-低下」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

### 参考) 仕入単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



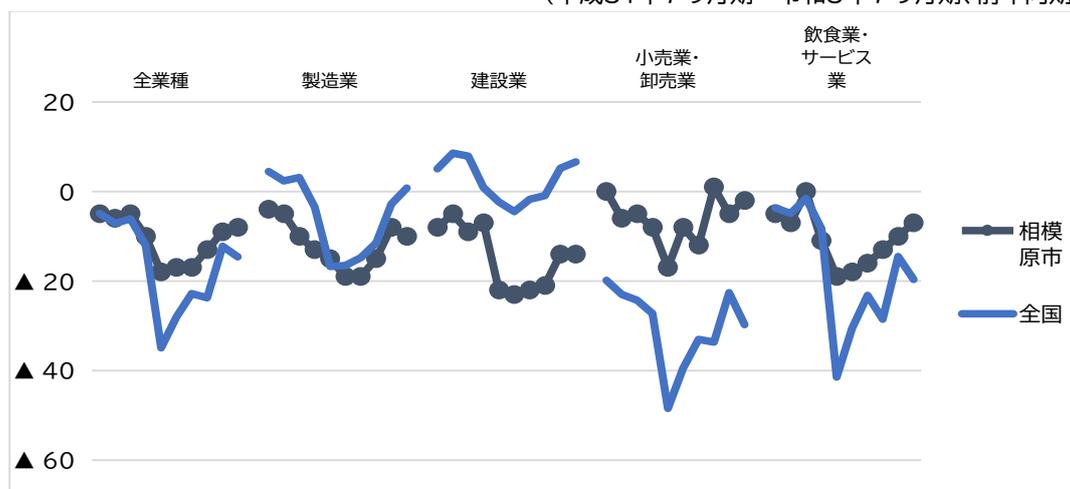
### 販売単価DI(前年同期比)の推移

全産業の販売単価DIは、▲8(前期差1ポイント増)と上昇。

産業別にみると、小売業・卸売業が▲2(前期差3ポイント増)、飲食業・サービス業が▲7(前期差3ポイント増)、建設業は▲14(前期差±0)、製造業は▲10(前期差2ポイント減)と、いずれもほぼ前期並みであった。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全国より製造業および建設業の価格競争が厳しいことがわかる。小売業・卸売業は、全国値より単価が高めで安定している。

(平成31年7-9月期～令和3年7-9月期、前年同期比)

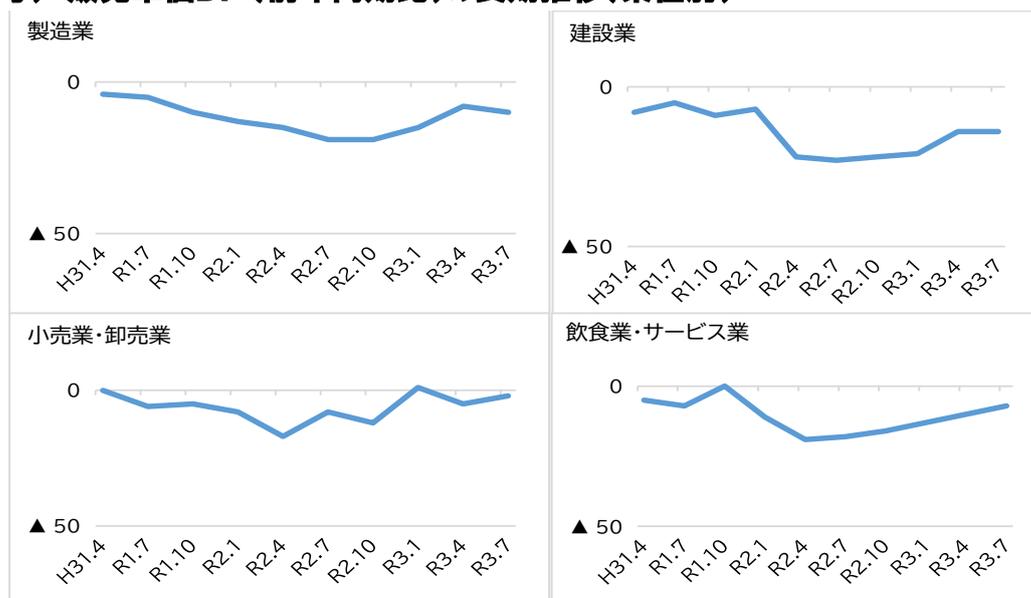


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所 LOBO/建設業令和3年9月」分類の値を使用

### 参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



## 従業員DIの推移

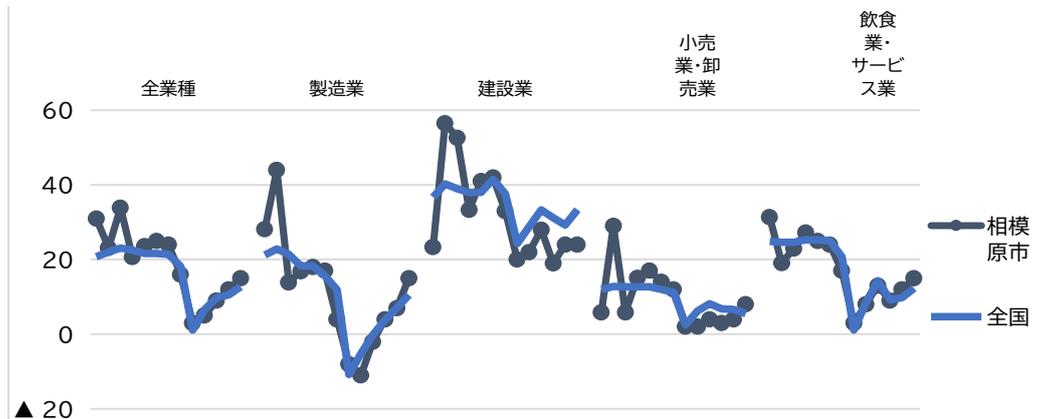
### 従業員DI(前年同期比)の推移

全産業の従業員DIは、15(前期差3ポイント増)で、増加。

産業別では、建設業は24(前期差±0)、製造業は15(前期差8ポイント増)、飲食業・サービス業は15(前期差3ポイント増)、小売業・卸売業が8(前期差4ポイント増)と、売上の回復とともに人手の不足感が上がってきている。製造業ではほぼ新型コロナウイルス感染症拡大前に戻ったようである。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全業種において、ほぼ同様の傾向・同様のDI値である。

(平成31年7-9月期～令和3年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。

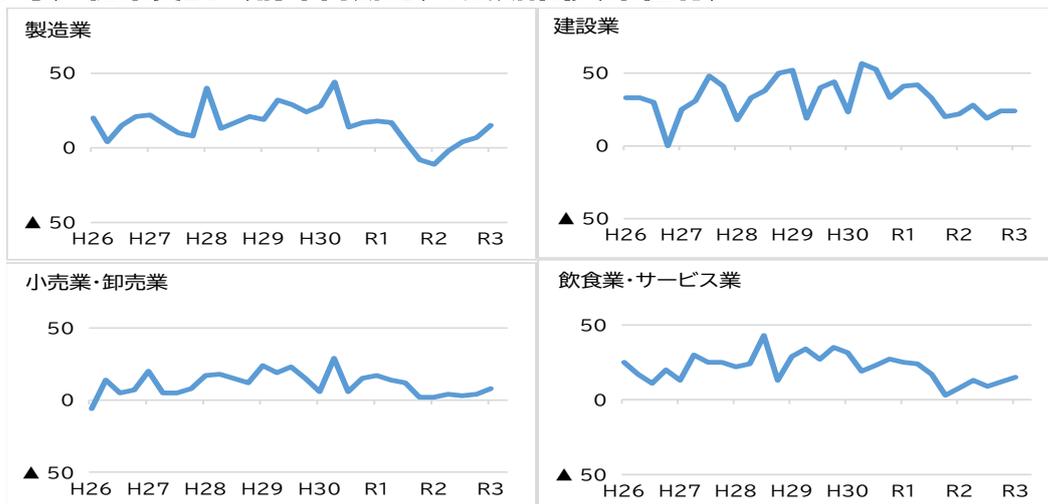
※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査

※従業員DIについて、当所では「DI=不足-過剰、中小企業庁は「過剰-不足」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

### 参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



**資金繰りDI(前年同期比)の推移**

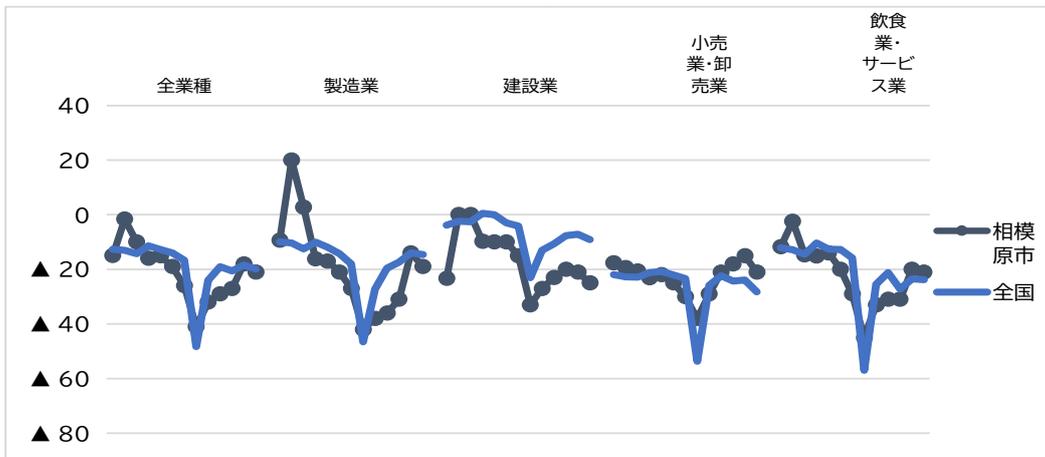
全産業の資金繰りDIは、▲21(前期差3ポイント減)と前期とやや悪化した。

産業別にみると、製造業の▲19(前期差5ポイント減)、飲食業・サービス業の▲21(前期差1ポイント減)、小売業・卸売業で▲21(前期差6ポイント減)、建設業は▲25(前期差4ポイント減)といずれも若干の悪化であった。

売上が良くなる一方で資材価格が高騰し仕入コストがかさんでいるため、全業種で資金繰りが悪化傾向にあるものと考えられる。

産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、建設業では当市のほうが資金繰り状況が悪い状態が続くが、その他の産業は全国と同様の傾向である。

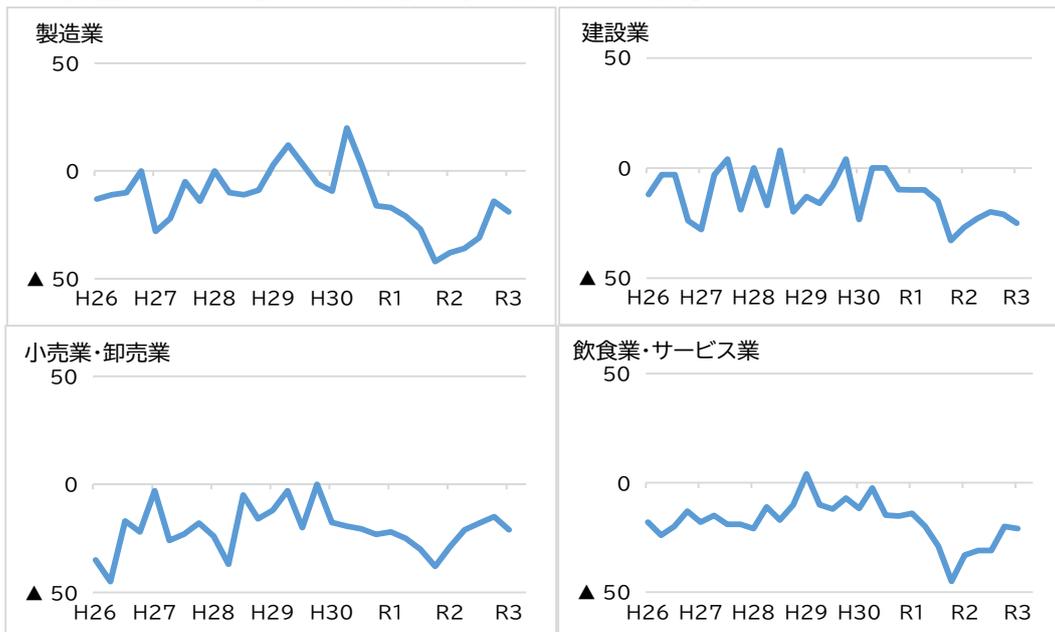
(平成31年7-9月期～令和3年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

**参考) 資金繰りDI (前年同期比)の長期推移(業種別)**



集計表(景気観測調査)

		今期(R3.7~R3.9)					次期見通し(R3.10~R3.12)				
		売上:増加 採算:資金、総合: 好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総合: 悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算:資金、総合: 好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総合: 悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値		
製造業	売上	サンプル数	82	69	94	245	66	94	85	245	
		構成比	33	28	38	▲5	27	38	35	▲8	
	採算	サンプル数	49	89	107	245	45	108	92	245	
		構成比	20	36	44	▲24	18	44	38	▲19	
	仕入単価	サンプル数	1	93	151	245	3	101	141	245	
		構成比	0	38	62	▲61	1	41	58	▲56	
	販売単価	サンプル数	15	191	39	245	20	186	39	245	
		構成比	6	78	16	▲10	8	76	16	▲8	
	従業員	サンプル数	46	189	10	245	41	191	13	245	
		構成比	19	77	4	15	17	78	5	11	
資金繰り	サンプル数	21	156	68	245	24	154	67	245		
	構成比	9	64	28	▲19	10	63	27	▲18		
業況	サンプル数	46	102	97	245	35	118	92	245		
	構成比	19	42	40	▲21	14	48	38	▲23		
建設業	売上	サンプル数	34	44	88	166	26	74	66	166	
		構成比	20	27	53	▲33	16	45	40	▲24	
	採算	サンプル数	23	71	72	166	15	87	64	166	
		構成比	14	43	43	▲30	9	52	39	▲30	
	仕入単価	サンプル数	2	72	92	166	3	79	84	166	
		構成比	1	43	55	▲54	2	48	51	▲49	
	販売単価	サンプル数	10	122	34	166	18	116	32	166	
		構成比	6	73	20	▲14	11	70	19	▲8	
	従業員	サンプル数	45	116	5	166	37	124	5	166	
		構成比	27	70	3	24	22	75	3	19	
資金繰り	サンプル数	6	113	47	166	5	115	46	166		
	構成比	4	68	28	▲25	3	69	28	▲25		
業況	サンプル数	18	80	68	166	15	84	67	166		
	構成比	11	48	41	▲30	9	51	40	▲31		
小売業・卸売業	売上	サンプル数	39	42	88	169	32	66	71	169	
		構成比	23	25	52	▲29	19	39	42	▲23	
	採算	サンプル数	20	65	84	169	19	83	67	169	
		構成比	12	38	50	▲38	11	49	40	▲28	
	仕入単価	サンプル数	7	75	87	169	6	84	79	169	
		構成比	4	44	51	▲47	4	50	47	▲43	
	販売単価	サンプル数	23	119	27	169	23	123	23	169	
		構成比	14	70	16	▲2	14	73	14	0	
	従業員	サンプル数	20	142	7	169	15	144	10	169	
		構成比	12	84	4	8	9	85	6	3	
資金繰り	サンプル数	14	105	50	169	12	115	42	169		
	構成比	8	62	30	▲21	7	68	25	▲18		
業況	サンプル数	18	74	77	169	18	82	69	169		
	構成比	11	44	46	▲35	11	49	41	▲30		
飲食業・サービス業	売上	サンプル数	76	145	179	400	75	197	128	400	
		構成比	19	36	45	▲26	19	49	32	▲13	
	採算	サンプル数	46	195	159	400	43	233	124	400	
		構成比	12	49	40	▲28	11	58	31	▲20	
	仕入単価	サンプル数	19	270	111	400	16	273	111	400	
		構成比	5	68	28	▲23	4	68	28	▲24	
	販売単価	サンプル数	35	302	63	400	32	318	50	400	
		構成比	9	76	16	▲7	8	80	13	▲5	
	従業員	サンプル数	77	304	19	400	80	303	17	400	
		構成比	19	76	5	15	20	76	4	16	
資金繰り	サンプル数	26	264	110	400	22	276	102	400		
	構成比	7	66	28	▲21	6	69	26	▲20		
業況	サンプル数	37	213	150	400	36	241	123	400		
	構成比	9	53	38	▲28	9	60	31	▲22		
全業種総合	売上	サンプル数	231	300	449	980	199	431	350	980	
		構成比	24	31	46	▲22	20	44	36	▲15	
	採算	サンプル数	138	420	422	980	122	511	347	980	
		構成比	14	43	43	▲29	12	52	35	▲23	
	仕入単価	サンプル数	29	510	441	980	28	537	415	980	
		構成比	3	52	45	▲42	3	55	42	▲39	
	販売単価	サンプル数	83	734	163	980	93	743	144	980	
		構成比	8	75	17	▲8	9	76	15	▲5	
	従業員	サンプル数	188	751	41	980	173	762	45	980	
		構成比	19	77	4	15	18	78	5	13	
資金繰り	サンプル数	67	638	275	980	63	660	257	980		
	構成比	7	65	28	▲21	6	67	26	▲20		
業況	サンプル数	119	469	392	980	104	525	351	980		
	構成比	12	48	40	▲28	11	54	36	▲25		

## 集計表(トピックス)

製造業
8月以降、特に9月は受注が増え、売上げも増加傾向にありますが、材料入手が困難で、単価も上がっている。【金属加工業】
アジア(インドネシア等)のコロナ感染によるロックダウンがいつまで続くか。これによって稼ぎが影響する。【自動車用オイルフィルター用部品】
イベントに関連する業種のため、まだコロナの影響が大きく売上減少に直結している。【特殊美術造形、FRP製品製造】
オリンピック実施で、感染拡大となり、景気回復も遅れている。【電気機械】
ここへきて原材料の上昇が苦しい。【食品】
これからの受注案件は増えているが、対応出来る人員が不足となっている。【非鉄金属の旋盤加工】
コロナで止まっていた案件が一斉に始まった。しかしキャパシティは限られているので、前年度の損は補填できない。【製缶板金】
コロナにより学校行事が減少、売上減。【印刷業】
コロナの為、客先でのトライが出来ない為売り上げダウン。【シンプレス装置(ガスアシスト中空装置)】
コロナの影響が長引いている。【印刷業】
コロナの影響で悪化しているが、回復するのか、それとも商流が変わってネット販売が主流となるのかわからないので投資出来ない。【ヘアゴム製造・卸売り】
コロナの影響で仕事がありません。
コロナの影響で仕事が半減した。業界を変えて売り上げの挽回をはかる【産業用ロボット部品、航空機部品、半導体関連部品】
コロナの影響で部品の調達ができず、各社在庫切れにて、3.5ヶ月と遅れが生じている為、製造計画が立てられず仕掛け増え、売上が50%以上減少している。【半導体製造装置の自動制御製作】
コロナの第五波の影響は深刻。もうわからない。【畳製作、施工。】
コロナ禍お客さんの減少。今後不安。【麺類製造、卸売、小売、飲食】
コロナ禍において、営業できない。【切削工具製造】
コロナ禍の影響を受けての業績悪化。【工業用自動機の開発・製造・販売】
コロナ禍の終息が見えてこない、サプライチェーンがグローバルになっている中で海外工場のコロナによる生産の減少等、良いことより悪い材料の方が多い。【無線機機器の設計・生産・販売、AUDIO機器の設計・生産・販売、カラオケ機器の設計・生産・販売、その他 ODM 受注】
コロナ禍を脱却して、早期な経済活性化を期待する。【人工大理石加工製造業】
コロナ過での受注の悪化の影響が大きい。【高速モータの製造販売】
コロナ感染の収束時期。【精密板金】
ただでさえ不透明感を感じる上に、諸外国からの納入の滞りが聞こえてくるので、さらに悪くなる風評がある。【段ボール製函紙器一式・包装資材】
プラスチック他(紙等)に変革心配です。【プラスチックキャップ】
やはりコロナの影響が長引いている。受注はしているがそれほどびんが売れていないと感じる。【ガラスびんの製造】
安定的な加工業務受注の減少、納期の延伸、単価減少。【軟質ウレタンフォーム加工及びウレタンチップフォーム製造加工】
雨が多く、販売対象顧客様の購入意欲に響いている。仕上がり、収益が下がる。【太陽熱温水器及びソーラーシステム機器】
海外(東南アジア)のコロナの影響(ロックダウン等)で部品供給遅れ発生。【ねじ、ボルト】
各テレビ局の設備投資が少なくなって、従業員も過剰な状態にある。【業務用放送設備機器】
機械加工品の納期が長期化、購入品も物によっては入手困難。【装置設計、製作】
求人かけても、なかなかマッチする応募者が少ない。【超電導線材】
協力会社、得意先の廃業など。【看板、金物、電気工事】
業界毎の好、不況の差が大きい(いつも以上に)。【金属部品加工業(切削、曲げ、溶接)】
緊急事態宣言による景気の悪化。【金属樹脂精密加工(切削)】
緊急事態宣言長期化に伴う、売上低迷。【段ボール製品の製造、販売】
景気悪化。【プラスチック金型製作】

見通しが不透明感。【ゴムパッキン加工】
原材料の高騰、物不足により納期がかかっている。【橋形クレーン、天井クレーンの製造及びリース】
原材料の高騰が大きい。【うまい豆腐】
原材料の入荷トラブル。【電池部品(樹脂成形品)】
原材料の不足からくる顧客メーカーの生産調整の影響。【塗料の製造、販売】
原材料費の高騰。技術員不足。【工業製品塗装】
原材料費の高騰が続き販売価格に含めたく大手企業数社に見直しをお願いしている。相談会や打ち合わせがあり見積りも提出しているが、決採にならず自社で負担している。【製缶溶接、機械加工(産業生産設備や建機の金属部品加工)】
原料の上昇。【食品】
顧客の輸出品を取り扱っているが、国際物流の不安定化のため取引先が大量発注したものが予定通りに入荷したので受注量が大幅に増えた部門があり、売上が増えた。需要が増えたわけではないので、今後の受注減が多少不安である。【各種製品の加工・検査及び包装】
今までメーカーで在庫していた電気部品や電気工事資材が入手困難になりました。今まで注文するとすぐに入手できた電気部品の納期が数か月先などになり部品が入手できない為仕事が足踏み状態になっております。【制御盤の製作(工場で使う機械で使うもの)、製作した制御盤の電気工事】
今期(12月決算会社)の上半期はコロナ影響で大幅に減収となった昨年に比べて売上・受注が好転したが、上記の選択肢にはないが、調達サイドで材料の入手に支障がでている。下期についても受注はある程度出来ているが米国や東南アジアからの資材の調達が遅れているため出荷も遅れてしまう。調達サイドの支障も、各国のコロナ影響が大きいとのこと。今後の景気回復が懸念される。【空圧制御バルブの製造販売】
今期のみではないが、注文が来るタイミングに偏りがあるため処理が大変である。【発泡樹脂製品(梱包用)製造】
最近では電子部品が品薄となり、生産に影響が出始めている。【電気・電子機器製造】
最賃の上昇。上昇しても良いが、その分年収103万、130万の枠を引き上げて欲しい。【ジャズポップコーン、ポップコーン原料豆】
最低賃金の上昇の影響により仕入単価上昇。【消防被服製造】
材料など的高騰による仕入単価の上昇や、一部製品(制御機器や直動機器)の品不足による受注案件の納期や検収タイミングに遅延が生じる可能性があり。【省力装置・溶接治具などの製作】
材料の値上がりで、単価は上げてもらえずコストダウン同様となっている。特に非鉄材においては入手が困難になっている。【機械加工業(シャフト・フランジ・ケース等)】
材料価格上昇は得意先へ転嫁しやすいが、人件費、副資材のUP分を価格に転嫁出来ず、利益率の低下を招く。【建設機械部品製造】
材料単価の上昇。【トラック部品作成】
材料単価の上昇、受注単価のコストダウン【精密板金加工】
材料値上げ分を売価に反映できれば採算の悪化に歯止めがかけられる。しかしダメだった場合は利益が減少するので負担が増える。【鋼製建具販売】
材料遅延による納期遅れの為、売り上げ減少。
材料費、購入品の高騰。【精密板金加工】
材料費の高騰による仕入れ単価の上昇。【精密機械、防振装置、防振工事の製造販売】
材料不足。【プリント基板】
昨年からの景気悪化継続。【光学ガラス受託加工】
昨年のコロナ時からもどつつある。
昨年よりは売上が回復傾向だが一部材料の調達が遅れている。【産業用制御装置】
仕事の量が増えたり減ったり安定しない。部品の欠品が多く仕事が進まない。【各種自動制御装置の設計、製作、施工】
仕事量が極端に少ない。【カメラ、コピー、冷暖房の部品加工】
仕入れ材料の値上げによる悪化。【木枠、合板の製品及び梱包】
仕入単価が上昇しているが、販売単価になかなか上乗せできない。工事減少により、競争が増えて価格競争している。【金属製品製造業】
仕入部品の入荷(材料が入ってこない)。【半導体装置の組立や配線、エレベーターのケーブルや金口などの配線】

市場の環境は、昨年度のコロナ影響からの回復基調が継続しているものの、一方で世界的な半導体不足によるサプライチェーンへの影響および客先における生産活動の低下、材料費市況の高騰・物流関連費用の高騰など、急激な回復によるマーケットの影響が懸念される。【1.エンジンの開発・製造・調達・品質保証・建設・販売・サービス、2.発電システム、発電セットのリース・レンタル、3.ターボチャージャの開発・製造・調達・品質保証・建設・販売・サービス】
次世代技術やオープンイノベーションなどの活発化。【自律移動ロボット開発、協働ロボットSier】
自動車の部品点数の減少により仕事量が少なくなる。【自動車部品プレス金型設計製作】
車関係はコロナ、半導体不足、等で生産減が続き、ボディーブローの様に影響してきそう。【車用・検査治具作成】
若者達がものづくりに興味がないのが残念。【精密機械加工(半導体系)】
取引先、仕入れ先の先で、コロナの影響を受けて、その影響を感じている。材料がつかれない現象が起きている。【ヨットのマント、リギンの設計、製造他】
受注が拡大している。【絶縁材料販売、特殊ケーブルの加工、DC電源組立】
受注が多いものの、生産が追い付かない。専門職の人材を雇えない。【キャンピングカー製造販売、自動車アクセサリ製造販売】
受注の減少。【工業用化成品加工販売】
受注減少。【印刷】
受注先の大型合併、統合等が予想され先々の受注競争激化。【輸送用機器部品製造】
受発注の状況。【印刷】
周りを見ても町工場は仕事が減っている所が多い気がするので、全体的に絶対量が減っている感じがします。【機械金属加工】
徐々に回復してきたが、まだまだコロナによる消費者心理は冷え込んでいる。【自動車機械の設計・製造・販売】
少なからずコロナ禍の影響もあるが、原材料価格の高騰及び調達困難な状況が続いている【プリント配線板】
新規案件が軒並み中止、あるいは延期となり、売上が減少している。既存製品の製造についても減少、あるいは延期になっている。【電子回路基板設計、製造、販売】
新規開発(特許)製品が調子はいいが、コロナで拡販出来ない。【ダイカス製品品質向上支援装置】
新型コロナウイルスの影響。【臨床検査薬の開発、製造、販売】
新型コロナウイルスの影響。【金属表面処理加工業】
新型コロナウイルスの影響。【バリ取り機・洗浄機・ロボットシステムの開発・製造・販売・メンテナンス】
新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年5月～8月は業績が悪化したが、9月以降は急回復し2021年度は過去最高の売り上げ予想。懸念材料として、新型コロナウイルス感染症の拡大による景気悪化、工場内でのクラスター発生での操業停止が懸念される。【自動車用、部品および生産設備機械の製造、産業用設備部品(建機・農機・船舶)製造】
新型コロナによる営業活動、対面での活動ができない。行動制限など。【産業用設備・機械装置等の電気設計、ソフトウェア設計および製造】
新商品と販売方法の刷新が必要。【テーブルスポット溶接機(焼けない抵抗溶接技術)】
世界的なコロナの影響で受注数が半減。【自動車部品製造】
石油関係、鉄関係を中心に、材料費や諸経費が高騰しているにもかかわらず、親企業への値上げ要請が通らない。下請法も、単に支払遅延の防止だけでなく、適正なコストの反映に関しても影響力のある法律になって欲しい。【ショットブラストおよび下塗り塗装】
先行きが、全く読めない【金属焼付塗装】
全てのものが値上がりしていて、値上げが大変です。【発泡スチロール加工】
全ての材料の高騰で加工業の減少になっている。
相模原商工会議所からの連絡として;製造業を中心とし、全般的には景況が回復基調にある。一部の輸入材料・部品で、品不足のため仕入の高騰が発生している。になっており、一部では材料入手難で生産出来ない製品も出始めている。過去最高の利益を確保している。【水晶デバイスやセンサー等の電子部品用検査治具の開発・製造。】
大手からの注文がパツタリ。生産調整をし、自社工場の稼働率を上げています。正しいとは思いますが…。見積もり依頼すら少なくなり不安な日々を過ごしている。【真空装置・周辺部品加工、精密板金・周辺部品加工、プラスチック金型・周辺部品加工】
短期的な売上増はあるが、それが数年後にまで継続できる保証はなく、投資案件については5年ほど前に比べ、より精査した上で実施をする必要がある。【粘着製品の加工及び販売】

中国、米国向け需要が活発となり、半導体や自動車等の設備投資が加速しており、2月頃より受注が活況となっている。特に半導体不足の解消は来年以降となり、積極的な設備投資は今後も続く予定。【電子部品の製造販売】
労務費の高騰による採算の悪化。【オイルレスブッシュ、軸受け】
中国材料の高騰、コストUP。【めっき装置自動化機器等】
注文数が安定しない、材料が手に入りにくく、値段も上がっている。【金型プレス加工】
電気部品の納期が長期化している。組立ができない。【プラスチック押出成形、機械の製造販売】
東京、神奈川等、首都圏が景気が悪い。地方の方が良い感じ。【発砲プラスチック加工】
当初予定が後ろへどんどんずれ込んでいる。【精密機械の製造】
銅価格の高騰【電力機器、配電機器、免震・制振・制音デバイス】
売り上げの減少【建設器具機械製作修理、基礎器具機械製作修理】
売上が上がっても瞬間的、支援金や給付金の条件にも入らずだが給付無いとじり貧。【工業製品の試作製造、ノベルティ製造、3Dプリンター製造】
売上減少【建設器具機械製作修理、基礎機械器具製作修理】
発注の低下。【取扱説明書や業務マニュアルの制作】
半導体の不足で製造が計画できない。同じ理由で、ユーザの開発事業が遅れている【モータ用アンプの製造と販売、プログラム開発】
半導体の流通が滞っている為、価格の高騰、納期の遅れが続き、売上が後ろ倒しになっている。【計測機器の製造、販売、設置】
半導体パーツの入荷遅延による、製品生産への影響。【電子応用装置製造】
半導体関係の分野や好調だが他の分野での落ち込みが大きく現状維持まではいかない状況が続いている【精密部品加工、各種治具製作・設計】
半導体関連にて受注量増であり、人手不足、品質維持に課題が出てきている。【精密板金製造】
半導体産業向けの仕事が好調【配管製作】
半導体需要が良好【ふっ素樹脂チューブの製造、販売】
半導体需要旺盛、半導体不足、世界のコロナ感染の影響で、得意先及び自社に対する供給不足。【自動車等輸送用機器部品製造】
標準でもっとも使用されている、電子、電気部品が不足しており、入荷が3ヶ月から6ヶ月待ち。注文をしてもいつ入荷するかさえ、分からない状況。客先から装置を受注しても、作れない。大変困っている。【超音波バリ取り装置の製造販売】
不景気のせいか退職者が続き、技術力が低下してしまった。【金型製造】
部材調達困難な状況の中で先行き不安があることから、客先から製品確保の為の過剰な注文が続いているが、これは一時的なものと考えており、今後一気に受注の減少が生じる恐れがある。【電気機械器具製、ワイヤーハーネスの加工・販売】
不況での受注下落。【治工具、各種金属加工、装置設計製作】
部品が入手できない。【省力化機器の設計製造】
部品の納期の予測がたたないことが多い。【精密機械】
部品入手が困難になり先行きが不安【インサーキットテスト、インサーキットテストフィクスチャ、ファンクションテスト】
部品入手困難【精密機器の製造・設計・販売、梱包業】
労務費の高騰による採算の悪化。【オイルレスブッシュ、軸受け】
半導体不足、世界のコロナ感染の影響で、得意先及び自社に対する供給不足。【自動車等輸送用機器部品製造】
標準でもっとも使用されている、電子、電気部品が不足しており、入荷が3ヶ月から6ヶ月待ち。注文をしてもいつ入荷するかさえ、分からない状況。客先から装置を受注しても、作れない。大変困っている。【超音波バリ取り装置の製造販売】
不況での受注下落。【治工具、各種金属加工、装置設計製作】
不景気のせいか退職者が続き、技術力が低下してしまった。【金型製造】
部材調達困難な状況の中で先行き不安があることから、客先から製品確保の為の過剰な注文が続いているが、これは一時的なものと考えており、今後一気に受注の減少が生じる恐れがある。【電気機械器具製、ワイヤーハーネスの加工・販売】
部品が入手できない。【省力化機器の設計製造】

部品の納期の予測がたたないことが多い。【精密機械】
部品入手が困難になり先行きが不安。【インサーキットテスト、インサーキットテストフィクスチャ、ファンクションテスト】
部品入手困難【精密機器の製造・設計・販売、梱包業】

<b>建設業</b>
ウッドショックどうにかならないか。【リフォーム】
ウッドショックにより、工期遅延や木材仕入れ単価高騰となっている。【戸建て住宅、木造建築】
コロナによる景気の悪化。【造園工事業】
コロナによる景気減少。【塗装防水工事請負】
コロナの影響による経済の見通しが不明なところ。【ビルやマンション、病院等の金属製金物(手摺、外装パネル、装飾品、金属製庇等)設計、施工、販売】
コロナ禍で業種的には関係ないと思うのですが受注が減っています。【建物解体、産廃収取運搬】
コロナ禍にあって、当社は、特に仕事量の大幅な増減はありませんでしたが、緩やかな仕事増になります。【総合建設(建築)設計施工】
コロナ禍による工事意欲の減少。【塗装、防水、リフォーム工事】
コロナ禍の影響により仕事量が激減し、雇用も募集しても難しい【測量、大工工事業】
コロナ対策に費用がかかり公共工事が減少している。相模原の将来性が見えない。予算が少なすぎる。【管工事】
プライマリーバランス堅持を変更し、財政出動をしてほしい。デフレを克服してからでないとプライマリーバランスは出来ないはずだ。【建設業全般(ゼネコン)】
メーカーが厳しくなっている。販売ルートによる仕入れ価格等。【アルミサッシ・スチール建具工事、ガラス工事 エクステリア工事】
一般消費者の方は、先行して修繕は行いません。先行きの不安でしょうか？コロナ禍で、少し遅れていますので少々景気が悪く感じます。【給排水衛生工事、施設保全作業】
影響が出て来ると思われるのは銅ベース高騰による、仕入れ単価の上昇。読めないのが怖い。【自家用電気工作物の点検、一般用電気工作物の設計・工事】
去年に引き続き動向が読めず苦労している。【消防施設工事業・消防・防災用品】
景気が悪い。【水道設備】
景気の落ち込みを感じた。【大工工事業】
景気回復するのか？【造園業】
景気回復傾向にあるが業種による偏りを感じる。【電気通信施設の設計・施工・保守及びコンサルティング業務】
景気感の悪化。【管工事】
経済の停滞を感じます。雇用が悪化しているのでそこがボディーブローのように効いてくる【住宅、工場、AP、事務所など】
建設業界全体の物件数が非常に少ない状況になり、競争が非常に激しい状況になっています。そんな中、鉄筋材料が急上昇して仕入単価が労務費を圧迫し、余計労務単価が下落していく傾向です。【鉄筋工事】
元請建設会社の受注減少傾向が感じられる。【外構工事】
個人の工務店の受注が減ってきている。【左官タイル工事請負】
顧客の設備投資などが、減少している。【電気設備工事業】
公共工事の予算減少。【造園】
公共事業予算減少している。前年比3割減。【土木工事】
工期の遅れ。【管工事】
工事が少なく売上不振が5年ほど続き先が心配。【防水工事】
今期(4月～6月)受注の減少。【外構工事】
今期は、前期より受注した工事を含め、比較的安定した受注を確保しその殆どが完成しているため、全体を通して収益は確保出来ております。但し、次期へ向けての受注が減少しており今後の経営に懸念があります。【土木工事の施工・建築工事の施工】
今後の景気。【リフォーム・リノベーション・デザイン】
今後の売上不振が心配です。【外構工事】
今後売上減少になるのでは。【造園】

今年5月に木材関連がいきなり30%アップ。まだ値上がりしそう！【リフォーム】
材木が海外から入ってこなくて、現場がたびたび止まる事があり困る。【木造建築】
材料単価の上昇、公共工事(小)物件が少々。【鉄骨建築工事】
昨年からの新型コロナウイルス・変異コロナウイルスの感染拡大の影響で、建設業界全体の発注案件が大幅に減少しており先の見通しが見込めない状況です。【鉄筋工事業】
仕事を受注しても予定数料の削減が多い。
仕事量と社員のバランスがとれていない。【建設・建築全般】
仕事量の減少。【建具工事業】
社会全体の工事延期・遅れに伴い、4～6月期は、かなりの売上減少。夏以降下期にずれている感がある。半導体不足により空調機器仕入等の納期延長で工期が伸び経費上昇。【クリーンルーム施工、居宅介護支援】
取引先の受注が昨年に比べ、減少している。【内装業(クロス工事他)】
受注後に着工時期の延期が多い。材料単価の高騰により実行予算の見直し。【電気工事業】
受注状況 減少。【特注家具設計施工】
受発注の激減。
従業員の高齢化。【住宅新築リフォーム】
職人不足。【解体、土木、外構、建築】
新型コロナウイルスの影響か、オリンピック開催の有無が原因か、リーマンショックに近い景気の悪化が見える。【内装工事業】
人手不足。
先々の受注案件の減少。従業員の高齢化。【金属製建具業】
先行きの景気感、受発注の状況の変動。【消防施設工事業】
相模原市発注の予算が急下落。【造園工事】
売上減少。【重量物の搬出入】
発注先の工事の減少。【水道、土木工事業】
半導体需要が良化【ふっ素樹脂チューブの製造・販売】
不景気感で、個人個人の方が(クレームになりやすい)イラだっている方が多いので、テレワーク出来る職種でないで、行政の方にも考えていただきたい。【土木建築、造園工事】
不変。【電気設備工事業】
民間工事が減少している。【土木工事業】
民間工事の動きが鈍く、受発注の減少。【解体工事業】
木材不足が深刻(価格高騰)。【建築・不動産業】
大型工事の一巡および新型コロナ禍の影響に伴う事業見直しに起因する競争の激化・国外社会情勢変化の影響によるサプライチェーンの不安・DX推進への対応比重増。【土木、建築工事請負事業・不動産事業】
6月～9月受注が大変減少している【建設業(外構工事)】
7～9月が予測より受注が少ない。3年比較で最も少ない。大企業のコロナ控えの分の手持工事が大規模なものからリスタートしたため、弊社のような中小規模工事の下請けに対する仕事が少ない。政府のコロナ対策の病院に対する設備・機器対応が根拠なく前年度末で一旦区切ったため感染対策機器の導入が各施設で止まった。【クリーンルーム、感染症対策機器】
コロナ【エンジニアリング(機械設備)】
コロナウイルス【電気設備工事】
コロナウイルスの感染状況への懸念から競合が増えて受注価格の減少を感じている。また、低価格を避けるため、受注を見送り、人員が余剰となってしまっている。銅価格の変動により電線類が異常に上昇している(仕入れ価格の上昇)。【電気工事】
コロナで止めている経済をきっちり動かしてほしいです。【注文住宅 リフォーム公共工事 工場 店舗 アパート等】
コロナとは関係のない職種だと思うが、なぜか売り上げ不振に陥っている。【建物解体処分】
コロナの影響で受注減少。【機械器具設置、とび土木工事業、管工事】
コロナの影響で民間工事の減少が目立ってきている。【土木工事業】
コロナの問題、雇用の状況。【電気通信工事業】
コロナ禍での敬遠不振が続いている。【住宅基礎工事】
コロナ禍にともなう不景気感。【総合建設業】

コロナ禍の影響により仕事量が激減し、雇用は難しい。【測量・大工工事業】
コロナ拡大により、現場が休工になっているという話をまわりで聞くようになった。【造園・土木】
コロナ感染。【建築塗装工事】
コロナ長期化に伴う民間需要減退により公共工事受注競争が激化、資材価格の高騰、人材不足の継続が相まって厳しい経営環境が続くことが想定されます。また、2022年、2024年に予定される社会保険の適用拡大は、今のところ大きく取り上げられていないが、中小企業の経営を揺るがす大きな課題となり得、たいへん憂慮しています。【建築工事、土木工事、遺跡発掘支援、共同住宅清掃】
やはり景気の悪さを感じる。【電気工事、エアコン工事】
遠方の工事が増えた。【水道土木工事】
各資材や役務単価の高騰が続いているのが懸念。【土木建築】
既存建築物を主とした業務の為、大きな影響は受けないと思われる。【自家用・一般用電気工作物の設計・工事、自家用電気工作物の年次点検】
競争激化に伴う受注件数減、売上(受注)金額の値引きが痛い。【外食産業中心の厨房設備工事(電気、給排水、換気、空調工事含む)】
建設業の若者の就職希望者が不足。
見通しが出来ず不透明。【サッシ・ガラス工事、エクステリア工事】
現場でコロナが出たりして作業が不安定で売上が上がらない。【工場・テナントの間仕切り工事】
個人工務店の受注の減少。【左官、タイル工事業】
雇用。【給排水工事】
雇用は厳しい状況。【一般土木業】
公共事業の減少。【公共事業】
公共事業の受注により会社の状況は大きく変わる。【管工事、電気工事、建築工事の改修工事】
公共緑地維持管理作業の激減。【造園工事】
好不況の感触→悪天候が多いため、売り上げ減少。雇用状況→職人さん不足。管理職への希望者が少ない。【エクステリアの工事・販売】
今は建設関係が忙しいが、何年か先は不安感がある。
材木単価の高騰により、予算オーバーで契約まで至らない。【新築戸建、戸建リフォーム】
材料、コロナによる消費者、客先の足踏みによる延期、(遅延)が多い。【管工事】
材料仕入単価が急激に上昇し、受注単価に反映できない状況になっています。また、仕事量が業界全体で少ない状況にあり、工事労務費受注単価の減少が続いています。材料仕入単価の高値が今後も続き、仕事量が今後業界全体で増えなければ、苦しい状況が続くと思います。【鉄筋工事】
昨年がすでに悪化してたので、昨年比の意味がない。【店舗什器の組立施工】
仕事はあるが原材料の高騰と人材不足による非効率作業で利益の減少が見られる【金属工事】
仕入単価の上昇。【内装仕上げ工事・建具工事】
若い人材の建設業離れ。【新築リフォーム】
若手の建設作業員不足、競争過多による受注額の下落。【建築塗装】
若手人材不足。【電気工事業】
受注状況 減少。【特注家具設計施工】
受注先の減少。【リフォーム、改修】
受注単価は下落しているのに、鋼材価格が上昇し続けており収益を圧迫している。【建設アンカー工事】
受注不況。【外構工事】
受発注の状況。【電気設備工事】
受発注の低迷。【電気工事】
職人の不足。【解体、土木、エクステリア、建築】
新築が減っているような気がする。【床暖房工事業】
先が見えない景況感。【電気工事業】
大都市圏に本部、本社を置く企業の業績により、我々下請け事業者への影響がある。経営を圧迫するまではいかないが。【土木舗装工事】
通常の工事発注がほとんどない。【管工事】
電子入札による落札の難しさ(公共工事主体であるため)。【土木工事業】
民間工事案件の減少。

物件の減少。【家屋解体】
弊社取引先は設備投資をしている。コロナの影響はほとんど無し。電線(銅単価が値上げしており仕入れ額が上昇気味)【電気工事業】
未だコロナの影響で海外からの物流が入って来ず、現場がストップして納期が遅れているのが困る。【総合建築業】
半導体不足に伴う機器製造遅れによる工期変更。【電気通信施設の設計・施工・保守及びコンサルティング業務】

<b>小売業・卸売業</b>
ECはコロナによる影響が好材料となっている。【パジャマ・ルームウェアの小売業(ネット通販)】
Eコマースの分野が引き続き好調であるが、一時期と比較すると若干の落ち着きがみられる。【健康食品の販売、商品名:玉葱皮茶、玉葱林檎酢など】
オール電化、都市ガス、同業者の競争で大変な状況になると思います。【LPガス、灯油、リフォーム】
木材、ベニヤの材料の品薄高値2倍から3倍に。【木材、新建材、建具、ベニヤ、水回】
ここ10年の間で最も売りがいい。旅行や飲食にお金がかからない分、贅沢品である弊社扱い商品が売れているのだと思う。通信販売もやっているが、この1年間で月ベースの過去最高を何度も更新している。【自動車用品販売】
この先、イベント関係がどのように変わって行くのか不安です。【家電販売】
コロナ。【乳製品卸】
コロナウイルス対策ワクチンが普及し、コロナの危険性が減少しつつあるものの、患者数が増えている現状があり、飲食店舗の休業の煽りを受けて業界内の需要が減っている。また、官公庁の発注が例年と比べて非常に少なく、各企業の収益減少による税収低下が要因と思われる。【業務用厨房機器販売及び設置】
コロナで、注文数の減少、客単価の減少、来店数の減少等々。【菓子製造、販売】
コロナで悪化。【酒、タバコ、ジュース】
コロナにより売りが不振。【錠前・建築金物等の販売 施工】
コロナによる医療崩壊を回避する施策を切望します。【学校用品小売販売】
コロナの為、顧客の減少。【メガネ、コンタクトレンズの販売】
コロナの影響で販売先である海外がロックダウン等の影響で販売単価が下がってきていることが不安。【中古建設機械トラック買取 国内海外販売】
コロナの影響により子供の来店減少。【玩具小売り】
コロナの影響による景気動向の変化【中古自動車販売業】
コロナの影響は昨年と変わらず。海外顧客先への訪問、海外顧客先の来日不可で新しい案件の打ち合わせ出来ず。明るい兆し全く無し。【各種光学レンズ輸出】
コロナの関係、緊急事態による活動の自粛。【スポーツ用品】
コロナの行動自粛の影響、売上減。【下着、衣類、化粧品、健康食品】
コロナ禍での何回目かの緊急事態宣言の発出を受け、もう人々は受け入れることが困難な状況になっています。政府、県、市が有効な手段・方策を取らなければ、このまま経済は死んでゆくんだらうと思います。幸いにも弊社は生鮮食料品の卸売なので、人はどうしても食べなければならぬので、飲食店を除けばそれほどの大きな落ち込みにはなっていません。しかし学校の閉鎖などが行われれば売上の落ち込みは必至です。感染者の一時収納施設等、速やかに建設すべきだと思います。【生鮮青果物卸売】
コロナ禍での経営(受発注)に不安を感じている。【青果物】
コロナ禍で仕入値上昇。【新建材、木材販売】
コロナ禍による客足ダウン。【メガネ、コンタクト】
コロナ禍の中、個人、公共等、イベントの中止が大きく売りに影響あり。【和菓子製造販売】
コロナ禍において不景気が言われていますが、それは代表者を含め、見通しが甘い点や、状況の直ちに対応する能力がないだけである。あらゆる業種において売上、利益を伸ばしている企業があり、会社の努力如何だと思われる。【食品、健康食品製造卸売、健康食品の輸出】

コロナ拡大による工事減少、受注悪化。【建設材料一式】
コロナ関係か人の動き様単に少ない。【真空、化学宇宙関連機器、受注、販売】
コロナ第5波の影響で客足が減少し、売上が減っている傾向。【食品(生鮮、日配、菓子等)、雑貨、アルコール】
パートの最低賃金が上がる中、扶養内の130万の壁が変わらない事が困っている。【お菓子、食品、カタログギフト、タオル等】
パート不足。【肉の販売】
メーカー撤退による 売上の減少。【24時間風呂、マイクロバブル】
メーカー等、海外生産品の枯渇、遅延等による販売の低下。【釣り具販売】
メディアが正確な情報を流さないことによる間違った不景気感。【フォークリフト販売、整備】
飲食への消費が8月から、より減少している。【輸入食肉卸(輸入鶏肉)】
営業時間の短縮や移動の自粛により、花の需要が減っている。【生花の委託販売】
円高1ドル90円の時のコスト値下げ依頼が円安110円と同じ。(下に対しての圧力が多すぎる)。【電子部品販売商社】
外出自粛の影響が年度末までの売り上げにひびく可能性が有る。【省庁向け物品・資材の企画開発・販売。インターネットショッピング運営】
各取引先の案件が少なく、総じて当社の仕事も例年に比べて少ない。【業務用アミューズメント機器の企画・開発・製造。電子部品の輸入・販売。電子黒板の企画・開発・輸入・販売。】
活気がなくなっている。【機械工具、伝導用品(ベアリング等)】
感染症の行方。【飲料】
基本的景気感は厳しい。やはり衣料品はその中でも特に。【衣料、住まいの品、食料品】
既存顧客(製造業)の製造減少に伴い、購入品や設備投資の減少により、受注減で厳しい状況。【機械工具販売】
客の出足が悪い。時給引き上げによって、秋には商品が値上がりするだろう。【印章、印刷】
来客数の減少。【薬局】
客先の受発注のタイミングが若干早くなった感じがする。多注の上向き期待感。【鋳造副資材卸】
業務業種により明暗がはっきりとしています。一部商品が品不足で購入できない状態です。【工業用産業用ゴム、樹脂金属製品の販売】
見積もり合わせなどの価格の低下。【スポーツ用品販売】
原材料価格の高騰による資材の値上げによる収益の悪化。【電設資材卸売業】
原油価格高騰。【石油製品販売】
個人の消費金額が減少。【パン製造販売】
個人消費の減少。【医薬品販売】
好調。【住宅設備機器】
購入部品の価格が上昇している。購入部品の納期がかかっている。
昨年に続き催事中止による売上減少。【催事用品小売、卸】
仕入れ単価の上昇。販売価格の値上げがコロナ禍で厳しいので収益の減少。【LP ガス、住宅機器等の販売】
仕入価格の上昇。販売価格にすぐに転嫁することが難しい事。【洋菓子製造販売】
仕入先(問屋)の減少。
取引先の設備投資が減少(企業、大学等)。【家電品販売、電気工事】
酒を売るなど言われ、廃業しか道がない。売上80%減少。【業務用酒類販売】
受注時期の遅れが発生している。【産業機械及び周辺機器の卸売販売、自動機の製造販売等】
商品不足、仕入単価の上昇。【総合住宅資材販売】
消費者が支出を控えている感じ。緊急性のないものに出費しない。【畳その他】
消費者の動向。【食肉】
消費者の疲弊、働く人間のモチベーションの低下。【酒、米、タバコの販売】
新型コロナウイルスの影響から先行きが不透明。【地方卸売市場(青果)の運営】

新型コロナの影響が大きい。【新聞販売】
新型コロナの影響で高齢者の行動制限が見られる。【寝具用品全般販売】
整備商品売上が減っている。【自動車ディーラー】
製品の主要原料単価の高騰。【介護食品の開発&販売】
先が見えない状況の中での消費の低迷と所得の減少。【光、空気触媒製品の販売】
先行きの不透明感。【事務用品小売】
巣ごもり需要により売上増、下期はウッドショックで厳しくなる予想。【住宅設備機器卸売業】
葬儀業の大幅な減少による売上の下落。【生花、園芸品の小売】
大型案件が少なく小・中案件の数をこなす部分が多く従業員の負荷が大きい。【電気設備機器卸売業】
売上高減少。【管工機材、住宅設備機器、リフォーム商材】
半導体の高騰による仕入れ価格の上昇と、注文から納入までの期間が延長されてるので、在庫を積み増す必要性を感じている。【建設機械向け部品の販売】
半導体不足、コロナによる海外部品メーカー工場の操業停止により今後も部品、車輛価格(中古車)の高騰が予想される。【自動車販売】
必要最小限の発注が各社で個人買も少ない。【作業着、作業用品販売】
不安。【石油販売業(ガソリンスタンド)】
不況。【食器他】
不況感の感触ひしひしと感じます。【金物、雑貨販売】
部材料上昇。【家電販売及び工事業】
閉塞感増。【飲料、酒類、タバコ】
来店客数の減少。客単価の減少。天候異常(暑さのため、)のため、仕入れ商品痛みがひどく 廃棄処分が多く出た。【焼き芋、和菓子販売】

<b>飲食業・サービス業</b>
新型コロナウイルスの影響による顧客減少。コロナに対する従業員の健康管理の難しさ。【接骨院】
2019年の売上に戻してきたが、軽油単価上昇により採算悪化している。コロナの対策如何でまだまだ不透明状態が続く。【産業用部品輸送、一般雑貨輸送】
4月より購入顧客対前年の倍。【不動産仲介業】
DX 対応による未来像。【不動産賃貸住宅管理業】
クライアントの不況。【コンサルタント等】
コロナウイルスの影響。【エアコンプレッサーの販売、整備点検等】
コロナウイルスの影響大。【レンタカー・リース事業】
コロナが何時収束するのか？個人消費の低迷。BtoBの取引先の減少。BtoBtoCの取引先の減少。原材料費の高騰、ガソリン価格の高騰、原価率の高騰、利益率の減少。【墓参代行、墓石清掃、墓石クリーニング、墓石コーティング、墓石リペア、石材特殊清掃】
コロナで先の見通しがなし。【そば、うどん、和食】
コロナにおける集客が少ない。【福祉事業所、児童発達支援、放課後等デイサービス】
コロナによる営業影響が大きい。【ソフトウェア開発、システム構築】
コロナによる経済の傾き【。居酒屋】
コロナによる自粛。【居酒屋】
コロナによる諸影響。【エンジン・ターボチャージャーの設計等】
コロナに慣れている。マンツーマンしか申し込みなく、多人数教室が開けない。オンラインでの授業も慣れてしまっている。【パソコン教室】
コロナの影響。【生損保代理業】
コロナの影響が継続しており、お願いする講習会に参加が少ない。【厚労省管轄の法令の要点を企業に説明、人事労務のあり方を企業に指導】
コロナの影響が売上減少。【金属の凝固シミュレーション・システムの開発・販売】

コロナの影響で、人との交流が減少、営業の接客の減少。【社会保険労務士業】
コロナの影響でクライアントに足元を見られ、安くたたかれることが多くなった。【結婚披露宴の音響照明、映像撮影・制作】
コロナの影響で客足が全くなり、テイクアウトのみの状況。資金不足のため、借入返済に困窮。【日本料理】
コロナの影響で出入りできない施設がある。【鍼灸治療院】
コロナの影響で人が集まるイベントが激減している。なかなか営業もかけられないが、緊急事態宣言解除を受け、タイミングを見計らっている。【演奏業・音楽教室】
コロナの影響で売り上げが落ちた。【材木、鋼材】
コロナの影響により、外出の自粛、顧客の減少が見られる。【清掃用具レンタル、家事代行、清掃、お庭お手入れ】
コロナの影響はやはり大きい。【学習塾】
コロナの影響は軽微、売上が低下傾向。【ビルメンテナンス業(清掃、設備管理)】
コロナをきっかけに来店客減少。【美容業】
コロナ影響によりフィジカルな営業活動以外のバーチャルな営業活動の共存にシフトしている。半導体不足による仕入れリードタイムの長期化をしている。【金融システムソリューション・メインフレーム・テープ & ストレージソリューション・データ変換・交換ソリューション・データ/テープマイグレーションサービス、メディアコンバートサービス・ストレージシステムの開発・製造・販売・UNIX/Linux/Windows対応ドライバ・ソフトウェア、およびアプリケーション・ソフトウェアの開発・コンピュータシステムのハードウェアおよびソフトウェアの保守サービス】
コロナ禍でまともな営業が出来ていない。【ダイニングバー居酒屋、和風バル】”
コロナ禍でも好景気の企業がある。【屋外広告看板】
コロナ禍で新規顧客が獲得できないこと(対面・企業訪問ができないこと)。【印刷・編集・プランニング・デザイン・コピーライティング・Web制作・写真撮影・看板サイン】
コロナ禍で人の出が悪い。【理容業】
コロナ禍で先が見えない不安があります。材料の値上げもある。【土地、建物、賃貸管理、リフォーム工事】
コロナ禍で低迷していますが、当事業は幸いにして影響は機微です。【電気保安管理業務】
コロナ禍で売上減少しているのに時給これ以上UPしないで欲しい。【カフェ(パン、ケーキ販売)】
コロナ禍によるテナントの苦境の影響が見え始めている。【ビル賃貸】
コロナ禍による企業の経費削減加速。【観葉植物レンタル・販売】
コロナ禍による葬儀参列人数減少、それに伴う付帯売り上げ(飲食、返礼品)の減少。【葬祭業】
コロナ禍の為に、お客様が不安をかかえていますので、エステに足をはこばない。【化粧品販売・エステ】
コロナ禍の影響が心配。【損害保険、生命保険代理店】
コロナ禍の影響とします。
コロナ禍の解消。【組合事業】
コロナ禍の緊急事態宣言に伴う、消費動向の低迷。【旅行業】
コロナ感染者の急激な増加により緊急事態宣言、夏休み等の休暇もホームステイを求められるなど、経済活動の鈍化に終始した。【不動産賃貸管理】
コロナ感染者の増加で来客数が減少。不況感が大きく感じられる。【ランチ定食、お弁当、夜居酒屋とディナー】
コロナ感染症の影響で高齢者帯の来院の減少を感じる。【整骨院事業】
コロナ危機で消費マインドの低下。【生ジュース調理販売】
コロナ及び消費低迷の継続。【居酒屋】
コロナ時短、酒提供なしの影響大。【寿司屋】
コロナ対策。【一般貨物】
コロナ対策。【観葉植物レンタル】

コロナ対策のコストが将来税金として国民に跳ね返ってくるということ。【機械修理業、自動車修理業】
コロナ長期化。【保険代理業】
コロナ不況を少し遅れて感じます。【改善を通じた人材育成】
コロナ問題でほとんど受注無し(煙火)。【煙火打揚業、検査梱包業】
すごい、悪くはないが、そこそこ悪いまま、低迷している。【鍼灸院 整骨院】
ステイハウスで好転。【子猫】
すべてにおいて積極的に動けない。【イタリア料理】
デルタ株が子どもに感染しやすいという情報があることから、昨年よりも子ども撮影の件数が減少傾向にある。撮影会などを企画するのも直前のキャンセルなどが考えられるためこちらもリスクがあるため企画しにくい状況にある。【写真撮影、アルバム制作、販売】
とにかくコロナ禍で、居酒屋は営業がまともにできない。【居酒屋】
ネット教育関連の取引先の好調。【ソフトウェア受託開発、自動化システム開発】
はじめからそんなに儲かっていないのでかわらない。【福利厚生・不動産投資・タロット占い・カラーコンサルタント】
ビルメンテナンス業は高齢者の雇用の受け皿になるなど社会に貢献していると自負しているが、原価のほとんどが人件費の為、最低賃金上昇の影響を多分に受ける。激しい競争により販売価格が抑えられている現状、近い将来採算の悪化により雇用を抑える必要があると感じている。【ビルメンテナンス業】
まだまだコロナ終息が見えず企業の経営悪化、アルコール提供不可がつづき店舗継続維持が難しくなる。【ランチ定食、夜居酒屋】
メーカーの部品不足による生産遅れ、削減が、お客様の購買欲低下を引き起こしている。【自動車販売修理】
ワクチン接種完了後の経済動向【インキュベーションセンターの運営】
飲食、サービス(イベント業等)関連業も含めて悪い。【経営コンサルタント】
飲食業の続行に不安感が強まっている。【手打ちそば、うどんの製造、調理の飲食業】
飲食店のお客様が足渋る。【中華レストラン】
飲食店の閉業による売上低下。【一般旅客自動車運送事業】
介護を受けたいとの希望は増加しているが、受け側としての我々の企業のヘルパー不足が足かせとなっている。毎月募集広告を出してはいますが、電話1本すらないときが多く、募集に対する補法を日々苦慮しています。何か良い知恵がありましたら押ししていきたい。【訪問介護事業】
介護報酬改定により収益減少、コロナで利用者減少、売上減少。【介護、福祉、医療】
海外では経済活動が再開されている中、未だに経済活動が停滞しており、国際的な人流が止まっているために、事業が大きく停滞している。【行政書士業(外国人の在留に関する手続き・相談等、各種許認可申請)】
各顧客の販促経費の削減が目立つ、コロナ禍でイベント開催が激減。【総合広告代理店主に、紙媒体・web関連・サイン全般 イベント企画運営等】
学力、常識を普通に有する人材の欠如。【会計、税務】
感染拡大による行動制限。【住環境整備事業】
求人をしているが、応募が全くありません。仕事は変わらずあるのですが。【飲料、食料品】
給付金がもらえる企業ともらえない企業の差が激しい。零細の飲食店は給付金をもらい、店を閉めている方が利益になると言う現実がある事に不公平を感じる。また水面下で不正受給も多いと思われる。【経営コンサルティング業】
協力会社への支出は増える一方だが、肝心の設計料金は変わらず年々厳しい状況に追い込まれてきている。【建築設計】
業務転換でもがいているところ。【イベント企画、運営、雑貨販売、ワークショップ開催】
緊急事態宣言が発令され、ほとんど休業状態なので、早く営業再開したい。【レストラン、居酒屋、貸スタジオなど】
緊急事態宣言の影響で結婚式を取りやめる、規模縮小など回復の見込みがない【ウェディング事

業、音響、照明、映像】
緊急事態宣言の延長に伴う消費への影響。【郵便事業】
緊急事態措置のため、外出自粛で売り上げはほとんどない。【飲食業、歯科技工業、不動産貸付】
景気の低空飛行。【自動車部品】
景気はいつ良くなるのか。【広告代理業】
景気感、好不況感の感触、コロナウイルスの動向。【機械設計】
景気動向。【情報処理サービス職】
経営者の学びがたりないこと。【社保、生保その他】
厳しいの一言。お客が来ない。従業員が定着しない。負のスパイラル。【マッサージ】
個人消費の低迷。【コンサルタント業】
雇用。【建築資材】
雇用(採用)者不足。【工場構内作業請負】
顧客となり得る企業の業績が悪化しており、依頼されても成約出来ない場合がある。【労務コンサルタント】
顧客の高齢化 若年層、中年層の来店が少ない。【美容業 パーマ カット ヘアカラー】
顧問先について ①売上の減少で、廃業を検討 ②補助金の申請の仕方が分からず、受給出来ない。【税理士業】
公共事業の減少、発注無しの見積もり。【造園施工管理・土木工事】
工事関係の宿泊が中心・観光業はまだまだ需要が戻ってくるのは先になる予想。【ビジネスホテル、飲食業】
今夏の一番ひどい状態のコロナでいくつか取引先との継続が難しくなった。今後のマイナスが決まっているので、来年春ぐらいまでは外注や雇用を控えてやっていくしかないかなと思います。【動画制作・web】
今期の不況はコロナ禍による飲食店時短や禁酒規則の要請が起因と思っている。【中華料理と飲み物】
今後コロナによる外出の自粛がどのように影響するか心配。【移動販売にてコーヒーを提供】
最悪。
最悪最悪最悪。【カラオケリース業】
最低賃金が再び上昇するようだが、扶養控除の枠が、いつまでも改正されず、それにより、働ける時間に限界があり、よって人手不足となっている。【弁当、総菜】
最低賃金上昇により経営圧迫。【家事代行、掃除用品販売レンタル】
作業員の高齢化。【測量、土地家屋調査士業務】
昨年あった弊社にとって大型注文が今年はまだ無く、会社都合による休暇取得の依頼を検討しなければならない時もあるくらい業務量の減っている部門(社員5~6名)がある。【・機械設計(派遣・請負)・機械設計CADトレーニングセンター(求職者支援訓練)・カタログ作成(取説含む)・製品含有化学部室コンサル業務(ROHS/ REACH 規制)】
昨年がすでに良くなかった状況で、今期が好転している状況にはないです。しかし、これ以上悪くなることもないかとも思っています。【アプリケーション開発、ウェブサービス開発】
昨年と比較して飲食店における絵業時間の短縮と酒類提供の中止が影響。20時以降の売上減少。【駅ビルの開発・運営・管理】
昨年と変わらず。【ホテル】
産業廃棄物の発生量が減少している。また、燃料(灯油・軽油)単価が上昇したままで不安である。【産業廃棄物処理、非鉄金属精錬原料販売】
仕事自体は減っていが延期が増えた。【WEB開発、アプリ開発、HP製作】
仕入れ単価の上昇が著しく、収益率が悪化している。商品販売価格(レンタル価格)に仕入れ単価上昇分を上乗せする事が難しいため今後も収益率は下がる見通しである。消費者の節約志向も高まり売り上げ自体も減少している。度重なる最低賃金の値上げにより、パート社員への賃金支払いが大きな負担となっている。社会保険料の会社負担も年々増え、正社員採用の大きな障害となっている。【浄水器レンタル】

仕入価格の高騰、油、鶏肉等。【弁当、総菜等製造販売業】
仕入値の増額。特にフード類。【犬猫の診療、治療】
仕入物件の不足。【不動産売買、仲介、管理、幼児～学童の子育て、子育ての家運営】
時短・酒提供停止の影響で過去最低の売上。【レストラン】
時短営業が続く限り改善はない。【お好み焼き】
自動車産業の回復、Covid19の収束。【構内請負・人材派遣業】”
社員の不足により受注をこたわってる。【自動車整備業】
社内体制の強化が不可。【パッケージソフト開発・販売】
若手社員不足。【自動車整備業】
酒が売れる時短で、約2週間影響しただけ(4/28～9/12期間)。【居酒屋(酒と刺身、煮物、揚げ物、焼物他)】
酒類の提供が出来ない為、ディナータイムの来客激減に依り、予約制としたがほぼ閉店状態。【レストラン営業】
酒類の販売禁止がづらい。【定食、ラーメンなど】
従業員の高齢化【廃棄物処理、リサイクル】
従業員募集に対する反応が、よくなっている。輸入資材の流通が不良。人件費高騰。【私立小学校及びプリスクール】
消費10%値上げにより冷え込み激しい。すぐに消費税凍結してデフレから脱却以外方法はない。【居酒屋】
消費者の外出への不安感が大きいように感じる。【音楽スクール、イベント、楽曲制作業務】
新規取引先の増強。
社員の補充(アルバイト含む)【ビルメンテナンス】”
新型コロナウイルスの影響。【ラーメン店】
新型コロナウイルスのワクチンを打った方でも外出を控えている人が一定数いる。そこに暑さ、天候不良が重なり通院につながりにくい。【接骨院鍼灸院】
新型コロナウイルス感染拡大長期化に伴う不況感。【中小企業金融】
新型コロナウイルス感染増の影響で経営がきつい。
新型コロナウイルス蔓延による消費者の消極性。【害虫駆除業】
新型コロナによる緊急事態宣言で夜間飲食店の閉店などで影響があり、売上が上がらない。【タクシー会社】
新型コロナの影響が大きすぎる。【レストラン(フランス料理、ワイン)】
新型コロナの影響で訪問先の売上が減少している。【社会保険労務士】
新型コロナ感染の収束見込みが立たない。【スポーツチームの運営】
人件費の高騰が課題であったが、ベテラン職員の退職(独立)により収益率が好転。以前より取り組んでいた社会貢献的な情報提供活動が仕事の依頼に結びつくなど、コロナ禍の影響を受けない部分が伸長した。【税理士】
人件費率が高い業態のため、最低賃金の上昇が収益悪化を招いています。【ビルメンテナンス業】
人口減少による販売先の縮小化。【保険代理店】
人手不足。【税務書類の作成】
人流が抑えられていることによる外食の減少により売上なし。【ビール、グリルチキン、ピザ、ワイン】
世間で感染拡大防止に対して気が緩んでいる感じがします。お客様からコロナをうつされるのではないかという心配があり、その場合は一気に売り上げや顧客を失うことに繋がる為、大変不安です。【鍵関係の施工、販売。】
政府のコロナ対策に対しての無力感。【ディスプレイ業展示会・イベント・店舗内装工事他】
製造関係の事業は、コロナ禍にもかかわらず、健闘しています。【税理士】
先の予測が出来ない。【賃貸と売買の仲介】
宣言中にもかかわらず、昼間の客足はほぼ戻っていた。【カフェ】
前々年に比べると、まだ売り上げが戻っていない。【機械部品の輸送】

前年同期と比較すると売上が戻ってきている。これは、前年より新型コロナウイルスによる賃料減免が減った為である。ただ、今後の状況次第では、再びテナントからの賃料減免等の影響が出てくる可能性もある。【不動産賃貸業】
前年同月比は増加するも、前々年と比べればまだ売上高も減少。まだまだコロナの影響が続きそうなので先行きの売上が減少しないかが心配です。【一般貨物自動車運送事業】
相変わらずのコロナ禍の中、先行き不透明感が継続中。【人材派遣業】
体調不良。【コンサルティング業】
長引くコロナ禍の出口が未だ見えないことから、消費者の消費マインドは完全に内向思考が続くものと考えられ、これが消費者のみならず企業においても内部留保に走る経営が進むと思われ、いっこうにデフレからの脱却が見込めず、政局においても不安定でどのような力強い経済政策が打ち出されるか全く不透明な状況のなか、つかみ所がなく成り行き任せの経営にならざるを得ない。この予測不可能な時間に対する運転資金がいつ、何時枯渇するかわからない恐怖の中で運営していかねばならない。という覚悟を持つことが経営者も従業員も必要となってきたそうである。勿論そこを打開するのが経営陣の責務と役目であることは重々承知しているところではある。おそらく、政府はIT庁の創設等による市場のIT化のためのインフラ整備等を目玉においてくるのだろうが、これを各事業所が整備しスムーズな運用に至るまでにはそれ相当の準備期間と人材並びに資金が必要であり、これが現在の市場経済に直接かつ即座に影響を与えるものとも思われません。さらに、疲弊した政府・地方行政の財政の補填のため新たな税の徴収や消費税率のアップなどが巷間流れるようになると景気回復どころか経済破綻、経済恐慌にさえ陥るかもしれません。よほど心して取り組んでいただきたくお願いする次第です。【土地建物売買・仲介、不動産賃貸借媒介・代理、賃貸不動産の管理受託、不動産の活用・運用企画等のコンサルティング業務】
賃金の上昇(最低賃金の増加)。【保育、幼児向け英語スクール】
賃貸住宅についての賃貸契約数の減少。(コロナによる賃貸住宅の下見の減少。WEB 業務の増加による都心居住の必要性の減少。) 【不動産コンサルタント、仲介、賃貸管理】
通販などの安価販売、コマーシャル戦略。【保険代理業】
燃料費の上昇。【一般貨物自動車運送事業】
売上が減少。【仲介】
売上の先が見えない。
売上の低価に伴い雇用の維持が困難になってきている。【学童施設、スポーツクラブ運営】
売上低下。【保険代理業】
売上不振。【マスク・文具等】
売上不振。【運送業(一般貨物)】
発注状況減。【測量業、公共測量、開発許可、一筆測量他】
発注先減少。【建設設計監理業務。建物等移転補償コンサルタント】
半導体とコロナに関する事。【人材サービス】
半導体不足が車業界から工作機械・家電・PC含むOA機器にまでマイナス影響を及ぼしている。 【プレス機械関係の自動化・安全化支援、品質・環境ISO活用支援】
販売先の減少が特に感じる。【自動車硝子施工販売】
販売単価が下落。【食品、その他輸送、物流コンサル】
不況。【カーディテyling】
不況に転じている。【税理士業】
不動産関係では仕入れる土地が高くなっていてむずかしくなっている。建材等も高くなっていて先行きが心配。【建売住宅の販売、土地建物買取仲介、マンション・アパート等の賃貸仲介業】
不動産購入需要層、特に第一次取得者の動きが活発。しかし、販売価格上昇で高値についてこれない需要層が増えてきた。結果、中古戸建に流れているため、中古戸建買取再販・仲介は繁忙です。【不動産買取再販・仲介・管理】
不変。【ポンプ・モートル販売修繕、交換、配管改修業】
不変である【ソフトウェア開発、人材派遣】
不要不急の外出抑制で、売上減少。【飲食店、コーヒー専門店】

民間の受注が昨年に比べ増加している。多忙である。【建物の建築設計・監理業務】
猛暑日が少ない。【理髪美容】
予約がいっぱい過ぎて、1人で整体院をやるのは限界値に来ている。人を入れなければいけない事。【整体院で整体の施術】
来店するサイクルが全体に低下。【美容業】
来店客数の減少。【頭髪のカット、シェービング】
旅行業についてはコロナ禍という事で非稼働が続いている。【不動産賃貸仲介、物品販売、ビジネスサービス、トラベル事業】
林業に対する補助金に関して。【建物の賃貸業】
労働集約型業種なだけに、最賃の上昇はもろに原価悪化につながる。【ビルメンテナンス】
労働力の確保と設備の更新が必要。また、デジタル化とBCPの観点から、テレワーク等の一部導入や働き方改革をすすめるにあたり、デジタルインフラの整備、従業員の資質の向上、リスクリングなど様々な付随する対応にせまられている。【廃棄物処理、再生資源卸売】

## 経営上の問題点

### 単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=980)

	回答割合	
売上不振	45.5%	446
受注単価・販売価格の低下	12.1%	119
収益率の低下	30.8%	302
個人消費の低迷	18.6%	182
販売先の減少	14.0%	137
大型店の進出	1.2%	12
チェーン店等との競争激化	3.4%	33
公共工事の減少	6.2%	61
民間工事の減少	8.3%	81
仕入単価の上昇	30.8%	302
円安の影響	1.1%	11
円高の影響	0.4%	4
代金回収困難	2.3%	23
諸経費の増加	14.1%	138
従業員(含、臨時)が過剰	1.3%	1
従業員(含、臨時)が不足	20.3%	199
設備不足・老朽化	13.2%	129
特になし	7.4%	73

### 製造業

今回調査を見ると、「収益率の低下」、「仕入単価の上昇」、「諸経費の増加」、「設備不足・老朽化」が大幅に増加した。「売上不振」、「民間工事の減少」、「代金回収困難」は低下した。売上が改善しているが、仕入れや経費の増加により収益率が低下している状況がわかる。

	R2年7~9月 n=264	R2年10~12月 n=272	R3年1~3月 n=235	R3年4~6月 n=261	今回調査 n=261
売上不振	79.2%	72.1%	71.1%	56.3%	51.4%
受注単価・販売価格の低下	20.8%	15.4%	18.3%	27.6%	18.0%
収益率の低下	40.2%	29.8%	32.3%	5.7%	35.9%
個人消費の低迷	8.0%	7.4%	4.3%	11.1%	6.1%
販売先の減少	17.8%	18.8%	12.3%	0.4%	11.4%
大型店の進出	0.4%	0.0%	0.4%	0.8%	0.8%
チェーン店等との競争激化	0.4%	0.4%	0.0%	3.8%	0.4%
公共工事の減少	3.8%	4.4%	3.0%	5.4%	1.6%
民間工事の減少	7.6%	7.0%	5.1%	36.4%	2.4%
仕入単価の上昇	6.1%	11.0%	22.6%	2.3%	47.8%
円安の影響	1.1%	0.7%	1.3%	0.4%	2.0%
円高の影響	2.3%	1.5%	0.4%	1.5%	1.2%
代金回収困難	1.1%	0.7%	0.4%	14.9%	2.4%
諸経費の増加	10.6%	11.4%	14.0%	3.4%	13.1%
従業員(含、臨時)が過剰	8.0%	5.9%	5.5%	11.9%	2.0%
従業員(含、臨時)が不足	8.7%	10.3%	14.9%	23.4%	16.7%
設備不足・老朽化	12.1%	19.9%	25.5%	5.7%	20.8%
特になし	2.7%	5.9%	6.4%	5.7%	4.1%

## 経営上の問題点（業種別）

### 建設業

「仕入単価の上昇」、「収益率の低下」、「従業員が不足」、「諸経費の増加」が増加し、「売上不振」、「受注単価・販売単価の低下」、「公共工事の減少」が減少している。

製造業と同様、売上の減少は歯止めがかかってきたが、仕入れや経費の増加が収益を圧迫しているようである。

	R2年7~9月 n=184	R2年10~12月 n=180	R3年1~3月 n=155	R3年4~6月 n=182	今回調査 n=182
売上不振	41.8%	41.7%	45.2%	40.1%	34.3%
受注単価・販売価格の低下	25.0%	29.4%	24.5%	33.0%	17.5%
収益率の低下	26.1%	33.9%	25.8%	9.3%	27.7%
個人消費の低迷	10.3%	10.0%	11.0%	6.0%	7.2%
販売先の減少	8.7%	8.3%	10.3%	0.5%	7.8%
大型店の進出	1.6%	1.7%	1.9%	1.1%	0.0%
チェーン店等との競争激化	3.3%	3.3%	1.9%	20.9%	1.8%
公共工事の減少	30.4%	22.2%	21.9%	30.2%	18.7%
民間工事の減少	38.0%	35.0%	32.3%	27.5%	28.3%
仕入単価の上昇	10.9%	16.7%	16.1%	4.4%	36.1%
円安の影響	0.0%	0.6%	1.3%	1.1%	0.0%
円高の影響	0.0%	0.6%	0.6%	2.2%	0.0%
代金回収困難	3.8%	0.6%	1.3%	9.9%	3.0%
諸経費の増加	12.5%	7.2%	6.5%	1.1%	13.9%
従業員（含、臨時）が過剰	1.6%	0.6%	1.3%	29.7%	0.0%
従業員（含、臨時）が不足	29.9%	30.6%	24.5%	8.2%	30.1%
設備不足・老朽化	4.3%	5.0%	5.8%	1.6%	4.8%
特になし	4.3%	4.4%	5.2%	2.7%	4.2%

### 小売業・卸売業

「仕入単価の上昇」、「諸経費の増加」、「個人消費の低迷」が増加した。「受注単価・販売単価の低下」、「従業員が不足」、「民間工事の減少」、「代金回収困難」が減少した。売上不振の状況が依然として続く一方で、仕入単価の上昇が発生している。

	R2年7~9月 n=167	R2年10~12月 n=161	R3年1~3月 n=134	R3年4~6月 n=134	今回調査 n=166
売上不振	58.1%	53.5%	50.7%	53.6%	51.5%
受注単価・販売価格の低下	10.2%	10.1%	15.7%	27.7%	8.3%
収益率の低下	29.3%	28.8%	29.9%	36.1%	34.9%
個人消費の低迷	38.9%	24.5%	35.1%	20.5%	32.0%
販売先の減少	21.6%	17.9%	28.4%	9.0%	24.3%
大型店の進出	4.8%	0.7%	2.2%	9.0%	3.0%
チェーン店等との競争激化	5.4%	3.8%	6.7%	2.4%	10.1%
公共工事の減少	3.0%	2.6%	3.0%	1.8%	4.1%
民間工事の減少	6.0%	2.6%	2.2%	22.3%	5.9%
仕入単価の上昇	18.6%	5.4%	20.1%	3.6%	35.5%
円安の影響	1.2%	0.0%	4.5%	0.0%	3.0%
円高の影響	0.6%	0.7%	0.0%	3.0%	0.6%
代金回収困難	3.0%	2.4%	1.5%	11.4%	2.4%
諸経費の増加	11.4%	18.2%	11.9%	4.2%	13.0%
従業員（含、臨時）が過剰	4.2%	1.7%	1.5%	9.6%	0.6%
従業員（含、臨時）が不足	9.0%	20.8%	11.9%	13.9%	9.5%
設備不足・老朽化	8.4%	13.0%	13.4%	4.8%	8.9%
特になし	7.2%	11.8%	5.2%	5.4%	6.5%

## 経営上の問題点（業種別）

### 飲食業・サービス業

「個人消費の低迷」、「仕入単価の上昇」、「従業員が不足」、「諸経費の増加」が増加し、「売上不振」、「受注単価・販売価格の低下」、「代金回収困難」、「従業員が過剰」が減少した。徐々に売上が回復し従業員が不足する事業者が出てきているようである。他業種と同様に仕入や経費の増加が発生してきている。

	R2年7～9月 n=444	R2年10～12月 n=424	R3年1～3月 n=408	R3年4～6月 n=418	今回調査 n=418
売上不振	59.2%	53.5%	52.0%	46.9%	44.0%
受注単価・販売価格の低下	11.3%	10.1%	13.0%	23.7%	8.0%
収益率の低下	26.8%	28.8%	34.3%	22.0%	27.3%
個人消費の低迷	25.2%	24.5%	25.0%	14.4%	25.3%
販売先の減少	15.5%	17.9%	18.6%	2.9%	13.8%
大型店の進出	0.5%	0.7%	0.5%	1.0%	1.3%
チェーン店等との競争激化	3.2%	3.8%	1.7%	5.3%	3.0%
公共工事の減少	3.8%	2.6%	4.4%	5.0%	4.8%
民間工事の減少	5.4%	2.6%	3.7%	12.7%	4.5%
仕入単価の上昇	7.0%	5.4%	7.4%	1.4%	16.3%
円安の影響	0.2%	0.0%	0.5%	0.2%	0.3%
円高の影響	0.2%	0.7%	0.7%	2.6%	0.0%
代金回収困難	2.9%	2.4%	2.5%	17.2%	2.0%
諸経費の増加	20.0%	18.2%	18.1%	5.3%	15.3%
従業員（含、臨時）が過剰	3.6%	1.7%	1.2%	15.8%	1.8%
従業員（含、臨時）が不足	17.6%	20.8%	18.1%	16.0%	23.0%
設備不足・老朽化	15.3%	13.0%	14.5%	14.6%	13.8%
特になし	9.0%	11.8%	11.8%	13.2%	11.3%